

平成30年度 消 防 年 報



平成31年 中芸広域連合消防出初め式

【 奈半利川左岸にて一斉放水 】

中芸広域連合消防本部

令和元年度刊行

は し が き

- (1) この年報は中芸地区の消防行政を広く一般に紹介するとともに、将来の参考に資するため平成30年度中の消防の現勢及び消防業務の内容、火災統計等を収録編さんいたしました。
- (2) この年報の記載内容中予算関係、一般事項については会計年度とし、火災統計、救急統計は暦年、その他については当該表に記載する年月日により作成したものであります。
- (3) この年報の記載事項でお気付きの点又はご不審の点があれば、中芸広域連合消防本部までお問い合わせください。

令和元年 1 2 月

中芸広域連合消防本部

目 次

中芸地区の概要	1
中芸広域連合広域計画	4
中芸消防の沿革	8

総 務（庶務）

1. 中芸 5 ヶ町村の面積、人口	24
2. 中芸 5 ヶ町村平成30年度消防費決算額	24
3. 人口等にかかる消防費の割合	24
4. 連 合 の 組 織	25
5. 事 務 分 掌	26
6. 消防本部（署）庁舎の状況	29
7. 消防殉職者名簿	31
8. 故安岡司令補追悼歌	32
9. 相互応援等協定締結状況	33

総 務（人事教養）

1. 消防職員の定員及び配置状況	34
2. 消防職員の年齢別調	34
3. 消防職員の特殊技能資格取得状況	35
4. 消防職員の住居状況	36
5. 連合管理者、議会議員等名簿	37
6. 歴代管理者及び連合長	37
7. 歴代消防長	37
8. 消防職員の研修状況	38

総 務（財務）

1. 平成31年度歳入歳出一般会計当初予算額（広域連合）	39
2. 平成30年度歳入歳出一般会計決算額（広域連合）	40
3. 平成30年度性質別歳出決算額	41
4. 平成30年度財源内訳	41

警 防

1. 消防機械配置状況	42
2. 消防機械種別表	43
(1) 消防ポンプ自動車等種別表	43
(2) 小型動力ポンプ種別表	44
(3) 積載車種別表	44
(4) 無線通信施設	45
3. 消防水利状況	47
4. 気象通報受信状況	47

5. 救助出動状況	48
-----------	----

火災統計

1. 発生状況	49
2. 年次別火災状況	50
3. 町村別火災発生状況	51
4. 地域別火災状況・原因	51

救急統計

1. 覚知別救急出場状況	52
2. 曜日別救急出場状況	52
3. 事故別救急出場状況	53
4. 傷病程度状況	54
5. 事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員調	55
6. 時間別出場状況	56
7. 発生町村別出場状況	57
8. 搬送別状況	57
9. 年間別救急出場	58
10. 住民に対する応急手当普及啓発活動実施状況	58
11. 救急隊員の行った応急処置件数	59

予 防

1. 防火対象物一覧表	60
2. 危険物施設数	61
3. 危険物指定数量別施設	61
4. 危険物事務処理状況	62
5. 消防手数料徴収状況	63
6. 建築同意件数	63
7. 各種届出事務状況	64

消 防 団

1. 消防団機構	65
2. 消防団員の実員及び定員数	65
3. 在職年数別消防団員数	66
4. 年齢別消防団員数	66
5. 消防団員の報酬	66
6. 歴代消防団長	67
7. 消防団幹部名簿	67
8. 消防団の出動状況	68
9. 中芸広域連合消防団協力事業所表示証交付事業所	69
10. 総務省消防庁消防団協力事業所表示証交付事業所	69

中芸広域連合消防本部位置図

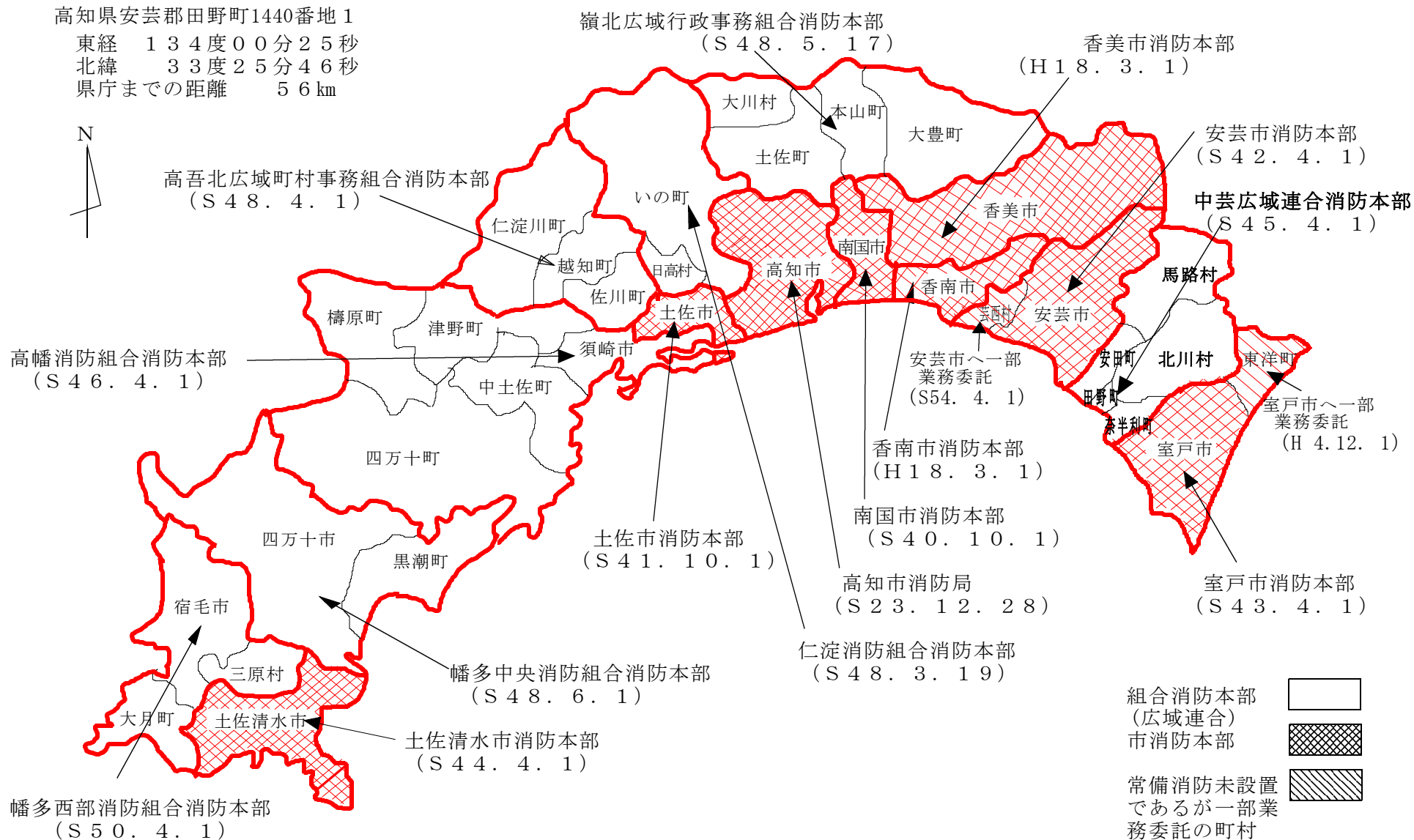
平成 31 年 4 月 1 日現在

高知県安芸郡田野町1440番地 1

東經 1 3 4 度 0 0 分 2 5 秒

北緯 33度25分46秒

県庁までの距離 56 km



※ () 内は、消防本部設置年月日

中 芸 地 区 の 概 要

中芸地区 5 ヶ町村は面積約450Km²、人口10,833人を有し、従来から行政的にも経済的にも一圏域を構成している。

北部には北川、馬路両村に無尽の森林資源を有し、南部海岸線 3 町の安田、田野、奈半利には漁業、ハウス園芸作物、木材加工業を主産とする農・商・工業の密集地域をなしている。

さきに、奈半利川水系の電源開発と、地域港湾としての奈半利港の竣工は県東部の中心地としての重要性をますます深め、加えて平成 1 4 年 7 月 1 日には A B 線として国が建設した全国で最後の路線、土佐くろしお鉄道ごめんなはり線が開業し、奈半利海岸のサンゴ礁、北川村のモネの庭、温泉などの観光スポットが数多くあり高知県東部での新しい観光地帯としても将来が期待される場所である。

また、平成 1 5 年 3 月 1 日には一部分ではあるが地域高規格道路が四国南東部では初めて北川村に、平成 2 2 年 8 月 2 0 日には奈半利町に開通した。

奈 半 利 町 の 概 要

高知県東部にあって、県都高知市より東へ約60kmの地点にあり、南は太平洋に、西は奈半利川、東と北は野根山の支脈を通じ、田野町、室戸市、北川村に接し、面積28.3Km²の南国特有の明るさに満ちた町です。平野部は奈半利川の東部一帯に広がる穀倉地帯であるとともに、商工業、教育文化施設等が町の中心をなしており、集落は平野部の他に海岸沿いや海岸段丘、あるいは谷川に沿って散在している。

地質は、山間部の高い部分は上部白亜紀層、平坦部は奈半利川層といわれ、植物の生長に適し、農業が発達しています。耕地のせまい海岸部では漁業が盛んで、山間地では農林業を営むなど、自然条件に適合した産業が行われている。

観光名所として、奈半利町ふるさと海岸に新設されたレジャー施設ではシュノーケリングやシーカヤック教室、ちびっこトライアスロンなど数多く開催され、さらに、奈半利町沖合にはコンクリート製離岸堤に珊瑚が群生しており、珊瑚ウォッチングなども行われている。

また、土佐くろしお鉄道ごめんなはり線の終始発駅となる、なはり駅を中心にした観光産業にも力を入れている。近年では、地元の資源や農産物を活かしたふるさと納税事業で全国的にもトップクラスの税収を得て、各種の補助事業の拡大に大いに貢献している。

田 野 町 の 概 要

県都高知市から東へ約55kmの奈半利川西岸河口に位置し、西北を四国山脈の支脈及び海岸

段丘に囲まれ、南は土佐湾に面し、東西2.2km、南北4km、総面積6.6km²の小さな田園の町である。

気候は温暖でほとんど降雪を見ることがなく、南国特有のすんだ青空と緑の自然環境に恵まれた町は、町の中央を東西に走る国道55号線と海岸に併行する旧国道を中心に形造られている。

基幹産業は歴史の深い木材製材工業と、施設園芸を主体とする農業及び大敷網、一本釣り等の沿岸漁業があり町の活力の原動力となっていたが、現在では、木材製材工業と一本釣り等の沿岸漁業は衰退し施設園芸主体の農業と大敷網が町の活力源となっている。

観光面では、昭和初期の総理大臣濱口雄幸、勤王の志士清岡道之助などの偉人を輩出していることから、濱口雄幸旧邸、清岡道之助旧邸、岡御殿（藩主本陣）、二十三士の墓や郡奉行所跡など、史跡、名所があります。

近年、奈半利川からのミネラルや山の養分を多く含んだ田野町の海水を使用し、太陽の熱と風の力だけを利用して生み出す「天日塩」づくりが行われている。

また、中芸5ヶ町村の中心的立地にも恵まれ、県立高校も所在している。

安 田 町 の 概 要

高知県東部に位置し、県都高知市から東へ車で約1時間20分、約50kmの距離にある。

まちの南側は黒潮洗う太平洋に面し、三方は四国山脈から分流する急峻な山脈に囲まれ、南面の山裾は、海岸段丘を形成して太平洋に没している。

馬路村に源を発する安田川は町の中央部を貫流し、支流とともに四季の彩りあでやかで、その清流には銀鱗おどる鮎の名産地として有名です。

安田川下流に広がる東島、西島の平野と、東谷川流域の唐浜平野はともに温暖な気候と、自然環境に恵まれ、施設園芸の発祥の地として、古くから施設野菜を中心に農業が発展し、ナスやミョウガ、露地でのオクラ栽培等が行われている。

また、鰹や鯖といった海の幸を主流とする漁業、清らかな伏流水を利用した醸造業など商工業の町でもある。

上流の中山間部では、高温多湿な気象条件を生かした造林業などのほか、露地野菜やユズ、自然薯(山芋)の栽培が盛んに行われている。

近年、安田川の美しさ、景観の美しさが見直され河川公園の整備、キャンプ場の整備や、観光面の開発が積極的に進められている。

さらに、優れた立地、環境を活用し北大野工業団地の造成を行い、地場産業の集積、企業誘致にも取り組んでいる。

また、自然環境を活用して町の遊休土地にメガソーラー事業を誘致し、環境教育や観光資

源としての活用の他、災害時の電源供給など様々な形での地域活性化に取り組んでいる。

北 川 村 の 概 要

高知県の東部に位置し、村域の東北部は徳島県、東洋町、馬路村、南西部は、奈半利町、田野町、安田町にそれぞれ境しており、高知市より約65km東方にある。地形は南部の一部を除いて典型的な溪谷型を形成しており、村土の約95%は林野である。

気候は、温暖多湿で年平均気温は16.3℃であり、雨量は年間降水量3,000mm～4,000mmと多く、良質な土質や自然条件に恵まれて植物の育生に適している。昭和30年代の奈半利川電源開発で村内に3つのダムと3つの発電所が建設され、村は一時電力景気に沸いたが工事が終わると時代の流れとともに過疎化が進み、活路をユズに求め全国有数の生産地になった。

平成12年4月にモネの庭がオープンし、中岡慎太郎館とともに多くの観光客が訪れている。また、平成30年6月には北川村温泉が国内初の集成材を利用したCLT工法建築で新築リニューアルオープンし、村の観光事業の発展に期待されている。

馬 路 村 の 概 要

高知県の東部、安芸郡の中北部に位置し、馬路地区は安田川水系に、魚梁瀬地区は奈半利川水系に属している。徳島県境と隣接市町村とはいずれも標高1,000m級の山岳によって隔てられた地域で南北17.9km、東西13.2km、総面積165.52km²の山村である。奈半利川水系は、村境より約1km下流に魚梁瀬ダムがあつて背水端までの9.8kmが貯水池化され、水源は遠く徳島県境に発して地形は、おおむね急峻で地質は大部分白亜紀で須崎層に属している。

村は、過疎化に歯止めをかける施策を次々と打ち出す「元気村」で知られ、村の支援により馬路村農協が販売を始めたユズ加工品は全国区の知名度となった。

また、魚梁瀬杉を使った木工芸品の販売に力を入れるとともに、魚梁瀬杉の自然林が残る千本山、安田川など観光資源も豊富である。

中芸広域連合広域計画

1. はじめに

中芸地域は、温暖な気候・恵まれた自然環境・豊かな伝統文化、各町村の特性を生かしつつ連帯と協調のもとに発展してきた。各町村は、人口の減少と自主財源の乏しい財政状況の中で、少子高齢化や過疎化などの地域の課題を克服し、多様な住民ニーズに的確に対応することが求められている。

このため、旧中芸行政組合や中芸地域開発促進協議会のこれまでの実績のうえに、平成10年7月から広域連合制度を導入し、これまで以上に行財政運営の効率化を図り、消防、環境や保健福祉などの分野において広域計画を策定し、新たな広域行政を推進してきた。

現在の広域計画は、平成22年度から平成26年度までの5年間の計画として策定されているが、この間、中芸広域消防署建設や「ねんりんピックよさこい高知2013」バウンドテニスの開催など、状況に応じて適宜広域計画の変更を行い、計画の理念に沿った事務処理を進めているところである。

新たな広域計画の策定にあたっては、これまでの5年間の事務事業を検証するとともに現行計画の見直しを行い、10項目について策定をしている。

また現在、構成町村では電算システムの更新時に多額の費用負担が発生しており、電算システム統合による経費節減の具体化を進めるとともに、その他の課題についても引き続き広域化の必要性等について検討していく。

この広域計画に定められた事項は、構成町村との協議を行いながら確実に進めていくことが求められるが、10項目の付託された業務に限らず、住民サービスや行政効率の向上を図るため事務の広域化が有効な手段であるものについては、その受け皿としての役割を果たしていかなければならない。

地方を取り巻く情勢は大きく変化しており、地方分権一括法（第4次一括法）の施行により市町村への権限委譲や法令による新たな事務が位置づけられるなど、市町村の役割が一層重要なものとなっている。また、小規模町村にあっては少子高齢化・過疎化の進行等による地域の相互扶助機能の衰退が見られる中で、住民の期待する行政の役割は益々大きくなっている。

こうした状況の中、構成団体では長引く経済の低迷などにより、財政状況が悪化する一方で、住民の価値観の多様化や社会環境の変化に伴い行政課題は複雑化、多様化が進み今後さらに単独町村での対応が困難な行政課題の増加が予想される。

町村合併協議が調わず、自立の道を進むこととなった中芸地域では、スケールメリットを活かせる分野での事務の効率化や経費節減、行政内部組織の共同設置に関する検討など、一層の行財政改革を推進していくことが必要であり、その受け皿としての広域連合の果たすべ

き役割も大きくなってきていることから、今後においては、中芸広域連合は広域行政の担い手として、広域化が進む行政需要への対応や地域資源を戦略的に活用した広域的な地域活性化への役割を担うことが重要となっている。

(消防分抜粋)

2. 消防及び救急に関すること

昭和45年、構成町村は地域の実情から広域消防体制の必要性を認識し、常備消防の機動力の強化と消防活動の効率化を図るため、中芸消防組合を設立、田野町に消防本部・消防署を、馬路村に分所を設置した。

中芸消防組合から中芸行政組合、中芸広域連合と広域行政が改組する中で、各種車両・機器の増設整備はもとより、救急救命士・潜水士など高度な能力を要する職員の育成に努めた。

そのほか、消防救急隊の編成、消防緊急システムの導入、高知県消防防災ヘリコプター及び大規模災害時における県内広域消防相互応援協定の締結、緊急消防援助隊への登録などを行った。

近年の複雑多様化する災害にも対応し、かつ地域住民のニーズに応えていくためにも、引き続き効果的な消防・救急体制の組織的強化を積極的に進めていく必要がある。

このような状況の中、国は平成18年6月に常備消防の広域化を推進すべく消防組織法を改正し、翌年には広域化への道標となる「市町村の消防広域化に関する基本指針」を示した。19年度末には県が全市町村を対象に県内全域を一つとする消防本部体制を目指すこととした「高知県消防広域化推進計画」を策定し、各消防本部と具体的な検討を行い、計画を進めている。

現在38名体制で、1本部1署1分所で本部に総務、予防、警防、救急の各係を置き、消防署に消防車、救急車を配備して、24時間交替制で活動しているが、職員の世代交代による消防力の低下や救急出動の増加、救急救命処置範囲の拡大に伴う資器材の配備や、消防救急需要体制を確立するとともに職員の資質の向上を図る。

また、消防庁舎の建設及び消防・救急無線のデジタル化の整備については、平成27年4月より運用を開始し、新しい指令システムや訓練施設で災害に備え日々訓練を行っている。

消防団は、5消防団、8分団の体制で地域の消防防災の一翼を担っている。

主要な課題と方針

【1】庁舎施設の運用・管理

新消防庁舎については、中芸管内の防災の拠点施設であることから、本庁舎、主塔・副塔、発電設備等、主要設備の維持管理に努め、災害発生時に適切に運用できるよう管理に努め、あわせて経費節減を図る。

最新の電子機器である指令システム・デジタル無線機器は、消防本部の重要な施設であり保守管理に万全を期し、安全安心なまちづくりを目指す。

【２】救助件数の増加への対応

救助隊を配置し、火災、交通事故、水難事故、自然災害などからの人命の救助・救出活動を行っているが、近年、交通事故による出動が増加し効果・効率的に活用できる救助工作車を配備することが必要となっている。

【３】救急体制の強化

高齢化、過疎化の進行する中で、特に高齢者の救急搬送が増加していることから、救急体制の充実強化が一層必要となっている。

救急救命処置範囲の拡大（心肺機能停止前の静脈路確保、血糖測定、ブドウ糖の投与）に対応するため資器材の購入や、さらに体制を確立するために、救急救命士資格取得後の再教育体制を推進する。

救急隊が現場に到着するまでの応急手当もまた重要であるので、自主防災組織や施設の職員が行えるよう応急手当講習の普及啓発を行い、バイスタンダー（現場に居合わせた応急手当を行う人）の養成に一層努めなければならない。

【４】多様化する災害や事故への対応

災害や事故が多様化しており、これらに対応するため消防職員及び団員のレベルアップを図る必要がある。

このため、消防学校の教育課程、各種の研修会へ積極的に参加し、知識の吸収や技術の修得に努めるなど消防人としての資質の向上を図る。

【５】消防団活動の充実と活性化

団員の高齢化が進み、消防団の活性化が必要となっている。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という崇高な消防団精神を普及・啓発し青年や女性の積極的な加入を促進するとともに、車両の計画的な更新や、トランシーバー、ライフジャケット等、災害時に安全を守る装備品の購入を推進するなど、消防団の充実と団員の活動能力を高める。

【６】林野火災への対応

管内エリアでは森林面積が９２％を占めており、一旦火災が発生すると大規模な事態になることが予想されるため、林野火災の予防が重要である。

林野火災を予防するために、林業関係者や入山者のマナー向上のため林道や登山口に火災予防啓発の立て看板を設置する。また、林野火災用の資機材の整備を行うとともに、災害時

には県消防防災ヘリコプターを積極的に活用する。

【 7 】 地震津波災害対策

” 今後 30 年以内に 70 % 程度の確率で発生する ” と言われている南海トラフ地震による被害の防止、軽減を図る震災・津波対策が必要である。

このため消防水利の増設、物資の備蓄、資機材の整備、地震防災訓練の充実に努めるほか、今後も組織化が進む地域の自主防災組織との連携を強化し、消火訓練、避難訓練及び応急手当の指導を行い、地域防災力の向上に努める。

【 8 】 円滑な情報伝達の実施

県の防災行政無線システムや総合防災情報システムにおいて提供される気象や災害情報等を迅速に入手し、逐次地域住民に情報提供し災害からの被害を軽減するよう努める。

平成 27 年 4 月見直し

中 芸 消 防 の 沿 革

中芸地区 5 ヶ町村は早くから消防団 5、分団 8、団員 241 名をもって中芸地区消防団連合会を結成し、火災発生時には消防の相互応援協定を締結して、消火活動を進めてきたが、地区発展の実状からみても、過疎過密を主軸に広域的視野からも組合消防の必要性が痛感されてきて、5 ヶ町村の町村長、議長、助役、総務課長、消防主任、消防団長による組合消防研究協議会が設置されるはこびとなり、協議会の基本方針として、

1. 中芸 5 町村の広域消防の実施
2. 一部事務組合方式による消防事務の統合
3. 消防団の一体化と整備（指揮系統）
4. 消防本部、消防署の設置
5. 常備消防の機動力の強化と消防活動の効率化

の 5 項目を確認し、研究協議を重ねた結果中芸消防組合が設立され、ここに中芸地区の 2 万の生命、身体及び財産を災害から守り、地域の安寧を確保する近代的な消防体制が確立された。

以下、その経過は次のとおりである。

昭和 43 年 11 月 11 日 中芸組合消防研究協議会発足する。

昭和 44 年 10 月 23 日 中芸組合消防設立準備委員会発足する。

12 月 中芸 5 ヶ町村の 12 月定例議会に於て中芸消防組合の設立が各町村満場一致で決議される。

昭和 45 年 3 月 11 日 中芸消防組合設立につき知事の認可を受ける。

4 月 1 日 中芸消防組合設立（初代組合長 岸野鼎氏（田野町長））される。

4 月 17 日 政令第 62 号により消防本部及び消防署の設置を指定される。

6 月 1 日 消防本部を田野町役場に置き、専任職員 1 名を配置（初代消防長 岸野鼎氏）する。

10 月 11 日 職員 1 名採用高知県消防防災課へ委託研修生として 3 ヶ月派遣する。

昭和 46 年 1 月 1 日 消防職員 21 名採用し、高知県消防学校消防職員初任教育（3 ヶ月間）に入校させる。

3 月 30 日 中芸消防本部（署）庁舎落成式

4 月 1 日 中芸消防署開署（署長 高松幹男氏）

署 員 24 名

指令車 1 台 消防ポンプ自動車 2 台

5 ヶ町村消防団は発展的解散し、引続き中芸消防組合消防本部消防長（岸野鼎氏）の統轄する消防団となる。

消 防 団 数 5

分 団 数 8

団 員 数 241

		消 防 ポ ン プ 自 動 車	9
		小型動力ポンプ積載車	5
		小 型 動 力 ポ ン プ	7
昭和46年	4月27日	馬路村消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。	
	7月 3日	消防ポンプ自動車A2級を購入、北川村消防団に配置する。	
	7月10日	小型動力ポンプ付積載車B3級1,500cc級を購入し、馬路分団に配置する。	
	7月26日	集中豪雨中芸地区を襲う。 故安岡消防司令補 救助活動中殉職	
	7月27日	故安岡消防司令補の中芸消防組合葬執行	
1	1月30日	室戸市と相互応援協定を締結する。	
昭和47年	2月18日	安田町消防団、日本消防協会長より表彰旗を授与される。	
	3月31日	救急自動車3Bを購入、消防署に配置する。	
	4月 1日	消防職員6名採用する。 消防救急隊を編成、救急業務を開始する。	
	8月22日	奈半利町消防団団長 岩内久實氏消防大学校へ入校する。	
	9月 8日	小型動力ポンプ付積載車B3級1,500cc級を購入し、田野町消防団配置する。	
	10月21日	消防ポンプ自動車A2級を購入し、安田町消防団中山分団に配置する。	
	12月22日	消防ポンプ自動車A2級を購入し、奈半利町消防団第3分団に配置する。	
	12月28日	小型動力ポンプ付積載車B3級1,500cc級を購入し、馬路村消防団魚梁瀬分団に配置する。	
昭和48年	2月20日	北川村消防団、日本消防協会長より竿頭綬を授与される。	
	3月31日	初代消防長 岸野鼎氏勇退する。 安田町消防団団長 佐竹恒雄氏勇退する。	
	4月 1日	署長 高松幹男氏消防長に就任する。 中野八公氏 安田町消防団団長に就任する。	
	8月 1日	救命ボート及びアクアリング2組を購入し、水難救助体制をととのえる。	
	10月 9日	消防ポンプ自動車A2級を購入し、安田町消防団東島分団に配置する。	
	11月10日	1,800リットル水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置する。	
昭和49年	2月20日	奈半利町消防団、日本消防協会長より表彰旗を授与される。	
	4月 1日	消防職員1名採用（計30名）	
	4月23日	田野町消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。	
	6月13日	日本消防協会より広報車（三菱ライトバン）を寄贈される。	
	7月16日	消防ポンプ自動車BS-I型を購入し、田野町消防団に配置する。	

昭和49年 9月14日 消防ポンプ自動車B S - I型を購入し、馬路村消防団馬路分団に配置する。

昭和50年 2月 6日 二代目消防長（兼署長） 高松幹男氏勇退する。
 2月 7日 組 合 長 岸野鼎氏消防長事務代行となる。
 署 次 長 中屋容臣氏消防本部次長に就任する。
 予防係長 横田勲氏消防署長に就任する。
 2月15日 組合議会第2代議長町田清重氏逝去
 4月18日 田野町消防団屯所落成
 4月30日 初代組合長（田野町長）岸野鼎氏勇退する。
 5月16日 北川村消防団、高知県知事より竿頭綬を授与される。
 5月19日 田野町長 広末久一氏組合長（兼消防長）に就任する。

昭和51年 3月 4日 馬路村消防団、消防庁長官より竿頭綬を授与される。
 4月20日 奈半利町消防団第1分団屯所改築工事竣工落成
 4月27日 安田町消防団、高知県知事より竿頭綬を授与される。
 6月 4日 安田町消防団安田分団屯所移転新築落成
 11月29日 日本損害保険協会より救急車2Bを寄贈され消防署に配置する。

昭和52年 3月 3日 田野町消防団、日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
 5月30日 馬路村消防団魚梁瀬分団屯所改築工事竣工落成
 12月10日 消防ポンプ自動車B S - I型を購入し、安田町消防団安田分団に配置する。
 12月23日 安田町国沢楠秀氏より救急自動車2Bの寄贈を受け、消防署に配置する。

昭和53年 3月10日 小型動力ポンプC - 1級を購入し、消防署に配置する。
 5月31日 安田町国沢楠秀氏、紺綬褒章を授与される。
 7月31日 消防長 広末久一氏勇退する。
 8月 1日 署長 横田勲氏消防長に就任する。
 9月 8日 日本損害保険協会より、消防ポンプ自動車A 1級を寄贈され消防署に配置する。
 10月22日 消防ポンプ自動車B S - I型を購入し、田野町消防団に配置する。
 10月30日 消防ポンプ自動車B S - I型を購入し、奈半利町消防団第1分団に配置する。
 11月 3日 奈半利町消防団 岩内久實氏、高知県知事より地方自治等（災害防除）功労者として表彰される。
 12月27日 高知県共済農業協同組合連合会より救急指令車を寄贈され、消防署に配置する。

昭和54年 3月 5日 奈半利町消防団、消防庁長官より竿頭綬を授与される。
 3月30日 放送、サイレン遠隔制御装置が完成、消防体制が強化される。

- 昭和54年 5月21日 奈半利町消防団第2分団屯所新築落成
6月12日 田野町消防団、高知県消防協会長より表彰旗を授与される。
10月26日 消防ポンプ自動車BD-I型を購入し、奈半利町消防団第2分団に配置する。
- 昭和55年 4月 1日 中芸地区少年補導センター組合及び中芸衛生組合を中芸消防組合に吸収統合して「中芸行政組合」に名称変更する。
組合長 広末久一氏（田野町長）
9月10日 小型動力ポンプ付積載車を購入し、安田町消防団安田分団に配置する。
12月 9日 組合事務局庁舎新築落成
- 昭和56年 3月30日 北川村消防団団長 田中勘介氏勇退する。
4月 1日 濱渦學氏 北川村消防団団長に就任する。
4月24日 北川村消防団、高知県知事より表彰旗を授与される。
4月29日 奈半利町消防団 岩内久實氏、藍綬褒章を授与される。
元北川村消防団副団長 前田忠雄氏、勲七等青色桐葉章を授与される。
4月30日 馬路村消防団団長 岩城義喜氏勇退する。
5月 1日 尾原宗壽氏 馬路村消防団長に就任する。
7月29日 北川村消防団小型動力ポンプ積載車を更新する。
- 昭和57年 2月10日 馬路村消防団 日本消防協会長より表彰旗を授与される。
10月 1日 消防職員3名採用（計33名）し、救急業務体制の強化に備える。
11月26日 小型動力ポンプ付積載車2台購入し、安田町消防団東島・中山分団に配置する。
12月 3日 安田町消防団東島分団屯所移転新築落成
- 昭和58年 3月 2日 安田町消防団 消防庁長官より竿頭綬を授与される。
3月29日 安芸市と相互応援協定を締結する。
3月31日 東洋町と相互応援協定を締結する。
8月27日 小型動力ポンプ付積載車を購入し、奈半利町消防団第1分団に配置する。
10月25日 消防ポンプ自動車BD-I型を購入し、馬路村消防団魚梁瀬分団に配置する。
11月 3日 元馬路村消防団団長 清岡勉氏、勲五等瑞宝章を授与される。
元北川村消防団団長 田中勘介氏、勲六等瑞宝章を授与される。
- 昭和59年 2月10日 奈半利町消防団 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
4月24日 田野町消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。
4月29日 田野町消防団団長 田村清氏、藍綬褒章を授与される。
8月30日 日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車が交付され馬路村消防団馬路分団に配置する。
11月 3日 奈半利町消防団分団長 寺尾敏雄氏、高知県知事より地方自治等（災

害防除)功労者として表彰される。

昭和59年11月21日 消防ポンプ自動車BD-I型を購入し、消防署に配置する。

昭和60年 3月31日 奈半利町消防団団長 岩内久實氏勇退する。
 安田町消防団団長 中野八公氏勇退する。
 田野町消防団団長 田村清氏勇退する。
 北川村消防団団長 濱渦學氏勇退する。

4月 1日 畠中稔稲氏 奈半利町消防団団長に就任する。
 池内善吉氏 安田町消防団団長に就任する。
 中島良久氏 田野町消防団団長に就任する。
 野中多加實氏 北川村消防団団長に就任する。

4月25日 馬路村消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。

5月 1日 組合長 広末久一氏勇退する。

5月25日 山本展甫氏(田野町長) 組合長に就任する。

8月13日 小型動力ポンプ付積載車を購入し、奈半利町消防団第2分団に配置する。

11月 3日 元北川村消防団団長 濱渦學氏、勲六等単光旭日章を授与される。
 馬路村消防団団長 尾原宗壽氏、高知県知事より地方自治等(災害防除)功労者として表彰される。

12月 4日 山之内製薬株式会社より救急自動車2Bの寄贈を受け消防署に配置する。

昭和61年 2月10日 田野町消防団 日本消防協会長より表彰旗を授与される。
 4月25日 北川村消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。
 6月 6日 広報車を購入し、消防署に配置する。
 7月17日 奈半利町消防団副団長 寺尾敏雄氏消防大学校へ入校する。

昭和62年 5月31日 奈半利町消防団団長 畠中稔稲氏勇退する。
 6月 1日 入交雅昭氏 奈半利町消防団団長に就任する。
 8月 3日 高知県共済農業協同組合連合会より救急自動車2Bの寄贈を受け消防署に配置する。

11月 3日 北川村消防団団長 野中多加實氏、高知県知事より地方自治等(災害防除)功労者として表彰される。

11月 9日 消防ポンプ自動車BD-I型を購入し、奈半利町消防団第3分団に配置する。

12月17日 北川村が消防ポンプ自動車BD-I型を購入し、北川村消防団に配置する。

昭和63年 4月29日 元安田町消防団副団長 小松三喜夫氏、勲六等瑞宝章を授与される。
 11月 3日 安田町消防団団長 池内善吉氏、高知県知事より地方自治等(災害防除)功労者として表彰される。

- 昭和 6 3 年 1 1 月 2 2 日 消防ポンプ自動車 B D - I 型を購入し、安田町消防団中山分団に配置する。
- 平成 1 年 3 月 6 日 安田町消防団 消防庁長官より表彰旗を授与される。
北川村消防団 消防庁長官より竿頭綬を授与される。
- 3 月 3 1 日 奈半利町消防団団長 入交雅昭氏勇退する。
北川村消防団団長 野中多加實氏勇退する。
- 4 月 1 日 寺尾敏雄氏 奈半利町消防団団長に就任する。
井津丑郎氏 北川村消防団団長に就任する。
- 4 月 2 9 日 元奈半利町消防団団長 畠中稔稲氏、勲五等瑞宝章を授与される。
- 1 1 月 1 6 日 小型動力ポンプ付積載車を購入し、馬路村消防団魚梁瀬分団に配置する。
- 1 2 月 1 5 日 小型動力ポンプ付水槽車を購入し、消防署に配置する。
- 1 2 月 2 4 日 消防ポンプ自動車 B D - I 型を購入し、安田町消防団東島分団に配置する。
- 平成 2 年 2 月 2 8 日 中芸消防本部、署、団設立 2 0 周年記念式典
- 3 月 2 6 日 小型動力ポンプ付積載車を購入し、田野町消防団に配置する。
- 9 月 1 3 日 消防ポンプ自動車 B D - I 型を購入し、馬路村消防団馬路分団に配置する。
軽四輪積載車を購入し、奈半利町消防団第 3 分団に配置する。
- 1 1 月 3 日 元奈半利町消防団副団長 久保田輝一氏、勲六等瑞宝章を授与される。
- 平成 3 年 3 月 2 0 日 消防緊急情報システムを購入し、消防署に配置する。
- 3 月 3 1 日 消防本部次長 中屋容臣氏勇退する。
奈半利町消防団団長 寺尾敏雄氏勇退する。
- 4 月 1 日 山本耕吉氏 奈半利町消防団団長に就任する。
消防職員 2 名採用（計 3 5 名）
- 4 月 2 9 日 元北川村消防団団長 野中多加實氏、勲六等瑞宝章を授与される。
- 8 月 1 日 消防署緊急情報システムと安田町防災行政無線を接続する。
- 1 0 月 1 日 安田町と防災行政無線局使用に関する使用協定を締結する。
- 1 0 月 1 8 日 消防ポンプ自動車 B D - I 型を購入し、田野町消防団に配置する。
- 1 2 月 7 日 消防指令車を購入し、消防署に配置する。
- 平成 4 年 4 月 1 日 消防職員 2 名採用（計 3 7 名）
- 4 月 2 4 日 奈半利町消防団 高知県消防協会長より表彰旗を授与される。
- 4 月 2 9 日 元奈半利町消防団団長 寺尾敏雄氏、勲六等単光旭日章を授与される。
- 1 0 月 2 8 日 消防ポンプ自動車 B D - I 型を購入し、安田町消防団安田分団に配置する。
- 平成 5 年 1 月 2 6 日 高知県と県防災行政無線局設置協定を締結する。
- 3 月 8 日 消防ポンプ自動車 B D - I 型を購入し、中芸消防署に配置する。

- 平成 5 年 3 月 3 1 日 消防長 横田勲氏勇退する。
 安田町消防団団長 池内善吉氏勇退する。
 田野町消防団団長 中島良久氏勇退する。
 奈半利町消防団団長 山本耕吉氏勇退する。
 馬路村消防団団長 尾原宗壽氏勇退する。
- 4 月 1 日 消防署次席 公文勝久氏消防長に就任する。
 消防本部副参事 林田昭夫氏消防署長に就任する。
 西山勝之氏 安田町消防団団長に就任する。
 横田紘一氏 田野町消防団団長に就任する。
 松岡進一氏 奈半利町消防団団長に就任する。
 笹岡 保氏 馬路村消防団団長に就任する。
 消防職員 2 名採用（計 3 9 名）
- 5 月 1 8 日 組合長 山本展甫氏勇退する。
 5 月 2 0 日 桑名義彦氏（田野町長） 組合長に就任する。
 8 月 2 5 日 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車 C D - I 型の寄贈を受け消防署に配置する。
- 1 2 月 9 日 消防ポンプ自動車 B D - I 型を購入し、奈半利町消防団第 1 分団に配置する。
- 平成 6 年 2 月 1 5 日 北川村消防団 日本消防協会長より表彰旗を授与される。
 4 月 2 2 日 安田町消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。
 7 月 1 4 日 高知県共済農業協同組合連合会より救急自動車 2 B の寄贈を受け消防署に配置する。
- 1 1 月 2 2 日 消防ポンプ自動車 B D - I 型を購入し、奈半利町消防団第 2 分団に配置する。
- 平成 7 年 1 月 3 1 日 消防無線を増波し、消防団専用とし、計 3 波となる。
 3 月 1 4 日 小型ポンプ C - 1 級を購入し、奈半利町消防団第 3 分団に配置する。
 4 月 2 7 日 馬路村消防団 高知県消防協会長より表彰旗を授与される。
 4 月 2 9 日 元安田町消防団団長 池内善吉氏、勲五等瑞宝章を授与される。
 5 月 1 日 軽四広報車を購入し、消防本部に配置する。
- 平成 8 年 1 月 1 9 日 高知県と高知県広域救急医療無線通信システムの整備及び管理運営に関する協定を締結する。
 2 月 9 日 安田町消防団 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
 3 月 2 9 日 安田町が小型動力ポンプ付積載車を購入し、安田町消防団安田分団に配置する。
 3 月 2 9 日 高知県、県内全市町村及び全消防事務組合と高知県内広域消防応援協定を締結する。
 3 月 3 1 日 高知県に広域救急医療無線通信システムが整備される。

- 平成 8 年 4 月 1 日 広報車を購入し、消防本部に配置する。
 田野町と防災行政用無線局遠隔制御装置の運用に関する協定を締結する。
- 1 0 月 1 日 林田消防署長 中芸行政組合衛生センター所長に就任する。
- 1 1 月 1 日 警防係長 公文學氏消防署長に就任する。
- 1 1 月 3 日 北川村消防団団長 井津丑郎氏、高知県知事より地方自治等(災害防除)功労者として表彰される。
- 平成 9 年 2 月 1 日 高知県と高知県消防・防災ヘリコプター応援協定を締結する。
- 3 月 2 7 日 北川村が小型動力ポンプ付積載車を購入し、北川村消防団に配置する。
- 3 月 3 1 日 奈半利町消防団団長 松岡進一氏勇退する。
 北川村消防団団長 井津丑郎氏勇退する。
- 4 月 1 日 消防職員 1 名採用 (計 4 0 名)
 総務係長 小谷和男氏消防本部次長に就任する。
 山村則成氏 奈半利町消防団団長に就任する。
 飯尾靖氏 北川村消防団団長に就任する。
- 6 月 3 日 高知県総合防災訓練を安田町安田川河川敷(安田中学校東側)で実施
- 1 0 月 1 日 安田町消防団中山分団屯所移転新築工事竣工
- 1 1 月 3 日 元奈半利町消防団団長 山本耕吉氏、勲六等単光旭日章を授与される。
- 平成 1 0 年 2 月 2 5 日 山之内製薬株式会社より高規格救急自動車の寄贈を受け、消防署に配置する。
- 3 月 2 6 日 安田町が小型動力ポンプ付積載車を購入し、安田町消防団東島分団及び中山分団に配置する。
- 4 月 1 日 消防職員 3 名採用 (計 4 0 名)
- 4 月 2 4 日 奈半利町消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 4 月 2 9 日 元馬路村消防団団長 尾原宗壽氏、勲五等瑞宝章を授与される。
 元奈半利町消防団副団長 利岡進氏、勲六等単光旭日章を授与される。
 元北川村消防団団長 井津丑郎氏、勲六等単光旭日章を授与される。
- 6 月 3 0 日 中芸行政組合 解散
- 7 月 1 日 中芸広域連合 発足
- 7 月 1 6 日 東洋町と相互応援協定を締結する。
- 7 月 1 7 日 安芸市と相互応援協定を締結する。
- 7 月 2 1 日 室戸市と相互応援協定を締結する。
- 9 月 1 9 日 県道 1 2 号線馬路村朝日出にて崩落事故発生(作業員 3 名死亡)
- 1 1 月 5 日 小型ポンプ C-1 級を購入し、安田町消防団安田分団に配置する。
- 1 2 月 2 4 日 消防ポンプ自動車 C D-I 型を購入し、馬路村消防団魚梁瀬分団に配置する。
- 平成 1 1 年 2 月 9 日 馬路村消防団 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。

- 平成11年 3月25日 小型ポンプC-1級を購入し、馬路村消防団魚梁瀬分団に配置する。
- 3月30日 奈半利町消防団第3分団屯所改築工事竣工
奈半利町が小型動力ポンプ付積載車を購入し、奈半利町消防団第1分団に配置する。
- 4月 1日 潜水救助業務を始める。潜水土9名となる。
室戸市消防本部と携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定を締結する。
- 6月10日 水難救助用ゴムボートを購入し、消防署に配置する。
- 10月14日 小型ポンプC-1級を購入し、田野町消防団に配置する。
- 11月 3日 安田町消防団団長 西山勝之氏、高知県知事より地方自治等(災害防除)功労者として表彰される。
- 平成12年 2月15日 消防団緊急伝達システムが竣工する。
- 2月24日 奈半利町と防災行政無線局共用に関する使用協定を締結する。
- 4月 1日 消防職員1名採用(計40名)
- 4月28日 田野町消防団 高知県知事より表彰旗を授与される。
- 8月16日 元安田町消防団副団長 西山廣周氏、勲六等単光旭日章を授与される。
- 11月 3日 元馬路村消防団副団長 山中福治氏、勲六等単光旭日章を授与される。
馬路村消防団団長 笹岡保氏、高知県知事より地方自治等(災害防除)功労者として表彰される。
- 平成13年 3月31日 奈半利町消防団団長 山村則成氏勇退する。
北川村消防団団長 飯尾靖氏勇退する。
馬路村消防団団長 笹岡保氏勇退する。
- 4月 1日 久保田溜氏 奈半利町消防団団長に就任する。
岡嶋信祐氏 北川村消防団団長に就任する。
井上順一氏 馬路村消防団団長に就任する。
消防職員1名採用(計40名)
- 6月 6日 指令車を購入し、消防本部に配置する。
- 11月 3日 元中芸行政組合消防本部次長 中屋容臣氏、勲六等単光旭日章を授与される。
- 平成14年 2月 8日 田野町消防団 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
北川村消防団 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
- 3月 6日 北川村消防団 消防庁長官より表彰旗を授与される。
- 3月31日 消防長 公文勝久氏勇退する。
消防署長 公文學氏勇退する。
田野町消防団団長 横田紘一氏勇退する。
- 4月 1日 消防本部警防係長兼消防署次席 白石彰彦氏消防長に就任する。
消防本部総務係長 小松光雄氏消防署長に就任する。

平成14年 4月 1日 濱川昌博氏 田野町消防団団長に就任する。
消防職員2名採用（計40名）

4月26日 安田町消防団 高知県消防協会長より表彰旗を授与される。

4月29日 元馬路村消防団団長 笹岡保氏、勲六等単光旭日章を授与される。

11月 3日 馬路村消防団団長 井上順一氏、高知県知事より地方自治等（災害防除）功労者として表彰される。

平成15年 2月 7日 安田町消防団団長 西山勝之氏、日本消防協会長より特別功労章を授与される。

4月23日 田野町消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。

4月29日 元田野町消防団副団長 栗名俊作氏、勲六等単光旭日章を授与される。

7月23日 馬路村が小型動力ポンプ付積載車を購入し、馬路村消防団馬路分団に配置する。

8月 1日 土佐くろしお鉄道株式会社と鉄道災害時の安全対策に関する覚書を締結する。

10月19日 元奈半利町消防団団長 山村則成氏、勲六等単光旭日章を授与される。

11月 1日 高知赤十字病院と救急救命士に対する指示並びに救急隊員への指導及び助言に関する協定を締結する。

11月19日 安田町消防団団長 西山勝之氏、総務大臣より感謝状を授与される。

11月25日 田野病院と救急救命士に対する指示及び救急隊員への指導・助言に関する協定を締結する。

12月 9日 高知県立安芸病院と救急救命士に対する指示並びに救急隊員への指導及び助言に関する協定を締結する。

12月31日 消防次長 小谷和男氏勇退する。

平成16年 3月 8日 奈半利町が小型動力ポンプ付積載車を購入し、奈半利町消防団第2分団に配置する。

4月 1日 消防本部総務係長兼消防署次席 小松敏夫氏消防次長に就任する。
高知赤十字病院と救急活動事後検証業務委託を締結する。

4月 3日 元北川村消防団副団長 前田年雄氏、瑞宝単光章を授与される。

4月23日 馬路村消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。

10月26日 高規格救急自動車（4WD）を購入し、消防署に配置する。

11月 1日 奈半利町木下安彦氏より救命講習用資機材の寄贈を受け、消防署に配置する。

平成17年 3月31日 安田町消防団団長 西山勝之氏勇退する。
奈半利町消防団団長 久保田溜氏勇退する。
馬路村消防団団長 井上順一氏勇退する。

4月 1日 小松寛之氏 安田町消防団団長に就任する。
田渕登志夫氏 奈半利町消防団団長に就任する。

- 平成17年 4月 1日 平山崇氏 馬路村消防団団長に就任する。
- 4月29日 元奈半利町消防団団長 入交雅昭氏、瑞宝単光章を授与される。
- 5月18日 連合長 桑名義彦氏勇退する。
- 5月23日 安岡 雅徳氏（田野町長） 連合長に就任する。
- 10月31日 室戸市消防本部との携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定を直接受信方式への移行に伴い解除する。
- 11月 3日 元田野町消防団団長 田村清氏、瑞宝双光章を授与される。
- 12月26日 北川村が消防ポンプ自動車CD-I型を購入し、北川村消防団に配置する。
- 平成18年 3月 3日 消防ポンプ自動車CD-I型を購入し、奈半利町消防団第3分団に配置する。
- 3月31日 北川村消防団団長 岡嶋信祐氏勇退する。
- 4月 1日 田中静夫氏 北川村消防団団長に就任する。
消防職員2名採用（計36名）
- 4月25日 馬路村消防団 高知県知事より表彰旗を授与される。
北川村消防団 高知県消防協会長より表彰旗を授与される。
- 4月29日 元安田町消防団副団長 黒岩一郎氏、瑞宝単光章を授与される。
元奈半利町消防団団長 松岡進一氏、瑞宝単光章を授与される。
元馬路村消防団団長 井上順一氏、瑞宝双光章を授与される。
- 11月 3日 元田野町消防団団長 横田紘一氏、瑞宝双光章を授与される。
田野町消防団団長 濱川昌博氏、高知県知事より災害防除功労者として表彰される。
- 11月22日 消防ポンプ自動車CD-I型を購入し、安田町消防団中山分団に配置する。
- 平成19年 2月 8日 元北川村消防団団長 岡嶋信祐氏、瑞宝単光章を授与される。
- 3月 6日 日本消防協会より司令車（ジープ型）の交付を受け、消防団本部に配置する。
- 4月 1日 消防職員3名採用（計38名）
- 4月25日 北川村消防団 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 4月29日 元中芸行政組合消防本部消防長 横田勲氏、瑞宝双光章を授与される。
元安田町消防団団長 西山勝之氏、瑞宝双光章を授与される。
元奈半利町消防団団長 久保田溜氏、瑞宝双光章を授与される。
- 11月 3日 元奈半利町消防団団長（元奈半利町議会議長）岩内久實氏、地方自治功労により旭日小綬章を授与される。
- 11月26日 小型動力ポンプ付水槽車を購入し、消防署に配置する。
- 12月 5日 安田町が消防ポンプ自動車CD-I型を購入し、安田町消防団東島分団に配置する。

平成19年12月31日 消防長 白石彰彦氏勇退する。

平成20年 1月 1日 消防署長 小松光雄氏消防長に就任する。

2月 1日 消防本部予防係長兼消防署次席 西山杉雄氏消防署長に就任し、本部
予防係長を兼任する。

3月21日 田野町消防団屯所移転増改築工事竣工

3月27日 馬路村消防団魚梁瀬分団屯所移転新築工事竣工

3月31日 田野町が小型動力ポンプ付積載車を購入し、田野町消防団に配置する。

4月 1日 消防職員2名採用（計36名）

4月23日 奈半利町消防団 高知県知事より表彰旗を授与される。

4月29日 元安田町消防団副団長 中野進一氏、瑞宝単光章を授与される。

7月30日 平成9年2月1日締結の高知県との高知県消防・防災ヘリコプター応
援協定を廃止する。
高知県と高知県消防防災ヘリコプター支援協定を締結する。

11月 3日 元中芸広域連合長（元田野町長）桑名義彦氏、地方自治功労により旭
日双光章を授与される。
元中芸広域連合消防本部消防長 公文勝久氏、瑞宝双光章を授与され
る。
元馬路村消防団団長 岩城義喜氏、瑞宝双光章を授与される。

12月12日 安芸警察署と相互通報に関する協定を締結する。

平成21年 2月13日 奈半利町消防団 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。

3月 6日 馬路村消防団 消防庁長官より表彰旗を授与される。

3月23日 馬路村が小型動力ポンプ付積載車を購入し、馬路村消防団魚梁瀬分団
に配置する。

3月31日 奈半利町消防団団長 田渕登志夫氏勇退する。

4月 1日 松岡博氏 奈半利町消防団団長に就任する。
消防職員3名採用（計38名）

4月24日 元中芸行政組合消防本部消防長 故横田勲氏、従五位を授与される。

5月18日 連合長 安岡雅徳氏（田野町長）任期満了により退任する。

5月19日 有岡正幹氏（安田町長）連合長に就任する。

5月29日 馬路村魚梁瀬 湯浅建設株式会社に消防団協力事業所表示証を交付す
る。

6月 7日 高知県総合防災訓練を奈半利町なはり港緑地公園で実施する。

11月 3日 元北川村消防団団長 飯尾靖氏、瑞宝単光章を授与される。

12月 4日 全国共済農業協同組合連合会高知県本部より救急自動車の寄贈を受け
高規格救急自動車に艀装し、消防署に配置する。

平成22年 1月22日 馬路村魚梁瀬 湯浅建設株式会社 総務省消防庁消防団協力事業所表
示証を交付される。

平成 22 年 2 月 25 日 馬路村魚梁瀬 湯浅建設株式会社 消防庁長官より消防団等地域活動表彰（事業所表彰）を受ける。

3 月 31 日 消防長 小松光雄氏勇退する。
消防本部予防係長兼消防署長 西山杉雄氏勇退する。

4 月 1 日 消防次長 小松敏夫氏消防長に就任する。
消防本部総務係長 松本恵典氏消防次長に就任し、本部総務係長を兼任する。
消防本部警防係長兼消防署第 1 消防隊長 加門英雄氏消防署長に就任し、本部警防係長を兼任する。

4 月 21 日 安田町消防団 高知県知事より表彰旗を授与される。

4 月 29 日 元奈半利町消防団団長 田渕登志夫氏、瑞宝単光章を授与される。

8 月 31 日 馬路村が消防ポンプ自動車 C D - I 型を購入し、馬路村消防団馬路分団に配置する。

11 月 3 日 馬路村消防団団長 平山崇氏、高知県知事より災害防除功労者として表彰される。
元馬路村消防団分団長 大野烈氏、瑞宝単光章を授与される。
元中芸広域連合消防本部消防次長 小谷和男氏、瑞宝単光章を授与される。

平成 23 年 3 月 3 日 奈半利町消防団 消防庁長官より表彰旗を授与される。

3 月 22 日 消防ポンプ自動車 C D - I 型を購入し、消防署に配置する。

3 月 23 日 奈半利町が小型動力ポンプ付積載車を購入し、奈半利町消防団第 3 分団に配置する。

4 月 1 日 消防職員 2 名採用（計 37 名）

4 月 29 日 元奈半利町消防団副団長 岳本幸己氏、瑞宝単光章を授与される。

6 月 15 日 奈半利町 有限会社木下建設に消防団協力事業所表示証を交付する。

11 月 3 日 元中芸広域連合消防本部消防司令 公文學氏、瑞宝単光章を授与される。

平成 24 年 3 月 2 日 緊急消防援助隊設備整備費補助事業の補助を受け災害対応特殊消防ポンプ自動車 C D - I 型を購入し、消防署に配置する。

3 月 12 日 消防署長 加門英雄氏退職する。

3 月 13 日 消防次長 松本恵典氏消防署長を兼任する。

3 月 27 日 田野町が消防ポンプ自動車 C D - I 型を購入し、田野町消防団に配置する。

3 月 31 日 消防長 小松敏夫氏勇退する。

4 月 1 日 消防次長 松本恵典氏消防長に就任する。
消防本部総務係長 田村善一氏消防次長に就任する。
消防本部救急係長兼第 1 消防隊長 若江正氏消防署長に就任し、本部

警防係長を兼任する。

消防職員 3 名採用（計 37 名）

平成 24 年 4 月 29 日 元安田町消防団副団長 清岡東洋夫氏、瑞宝単光章を授与される。
元田野町消防団副団長 南好弘氏、瑞宝単光章を授与される。
元奈半利町消防団副団長 吉崎憲氏、瑞宝単光章を授与される。
元馬路村消防団副分団長 西山始氏、瑞宝単光章を授与される。
元中芸広域連合消防本部消防監 白石彰彦氏、瑞宝双光章を授与される。

5 月 25 日 連合長 有岡正幹氏（安田町長）任期満了により退任する。

5 月 26 日 安岡雅徳氏（田野町長）連合長に就任する。

7 月 31 日 田野町消防団団長 濱川昌博氏勇退する。

8 月 1 日 安岡雄造氏 田野町消防団団長に就任する。

10 月 26 日 安田町が消防ポンプ自動車 C D - I 型を購入し、安田町消防団安田分団に配置する。

11 月 3 日 元中芸広域連合消防本部消防司令 弘松明男氏、瑞宝単光章を授与される。

12 月 3 日 馬路村消防団馬路分団屯所新築工事竣工

平成 25 年 3 月 8 日 田野町消防団 消防庁長官より表彰旗を授与される。

3 月 31 日 奈半利町消防団団長 松岡博氏勇退する。

消防本部警防係長兼消防署長 若江正氏勇退する。

4 月 1 日 宮地誓氏 奈半利町消防団団長に就任する。

消防本部総務係長 西山和則氏消防署長に就任し、本部警防係長を兼任する。

消防職員 1 名採用（計 36 名）

6 月 2 日 高知県総合防災訓練を奈半利町なはり港緑地公園で実施する。

8 月 29 日 軽四輪広報車を購入し消防本部へ配置する。

11 月 19 日 奈半利町が消防ポンプ自動車 C D - I 型を購入し、奈半利町消防団第 1 分団へ配置する。

平成 26 年 2 月 26 日 日本消防協会より防災広報車の交付を受け消防団本部へ配置する。

3 月 5 日 馬路村消防団団長 平山崇氏、消防庁長官功労章を受章する。

4 月 29 日 元田野町消防団団長 中島良久氏、瑞宝双光章を授与される。

7 月 2 日 中芸広域連合消防本部新庁舎建設地鎮祭

11 月 3 日 元田野町消防団副団長 安岡恭平氏、瑞宝単光章を授与される。

元中芸広域連合消防本部消防司令長 小松光雄氏、瑞宝双光章を授与される。

安田町消防団団長 小松寛之氏、高知県知事より災害防除功労者として表彰される。

平成 26 年 1 1 月 1 3 日 奈半利町が消防ポンプ自動車 C D - I 型を購入し、奈半利町消防団第 2 分団へ配備する。

1 1 月 2 5 日 平成 26 年度高知県消防防災総合補助金を活用し購入したデジタルトランシーバー 4 4 台を、各消防団にそれぞれ配備する。

平成 27 年 3 月 2 5 日 中芸広域連合消防本部新庁舎消防設備完成検査

3 月 2 6 日 高規格救急自動車を購入し消防署に配備、全国共済農業協同組合連合会高知県本部と土佐あき農業協同組合より救急資機材の寄贈を受け救急車に積載する。

3 月 3 0 日 平成 26 年度緊急消防援助隊施設整備事業消防救急デジタル無線整備工事完成検査を実施する。

3 月 3 1 日 中芸広域連合消防本部新庁舎建設工事完成検査を実施する。

4 月 1 日 消防職員 3 名採用（計 38 名）

4 月 1 6 日 中芸広域連合消防本部（署）落成式

4 月 2 3 日 田村消防司令 勤務中不慮の事故により殉職

4 月 2 9 日 元田野町消防団団長 濱川昌博氏、瑞宝双光章を授与される。
元中芸広域連合消防本部消防司令 西山杉雄氏、瑞宝単光章を授与される。

4 月 3 0 日 中芸広域連合消防本部（署）新庁舎デジタル無線設備切替・移転

5 月 1 日 中芸広域連合消防本部（署）新庁舎新築移転・デジタル無線設備運用開始

6 月 1 日 消防本部警防係長兼消防署長 西山和則氏本部警防係長を免じ、消防本部次長を兼任する。

6 月 2 6 日 元中芸広域連合消防本部消防司令 故田村善一氏、叙位（従七位・瑞宝単光章）を授与される。

1 0 月 2 1 日 平成 27 年度高知県消防防災総合補助金を活用し購入したデジタルトランシーバー 5 6 台を、各消防団にそれぞれ配備する。

1 1 月 3 日 北川村消防団団長 田中静夫氏、高知県知事より災害防除功労者として表彰される。

1 1 月 3 0 日 中芸広域連合旧消防庁舎解体工事 着工

平成 28 年 2 月 2 日 安田町が小型動力ポンプ付積載車を購入し、安田町消防団安田分団に配置する。

2 月 2 4 日 元中芸広域連合消防本部消防司令 故田村善一氏に公益財団法人日本消防協会並びに高知県消防協会より顕章状が授与される。同じく中芸広域連合より特別功労章が授与される。

3 月 7 日 中芸広域連合旧消防庁舎解体工事 完了

3 月 3 1 日 消防長 松本恵典氏 勇退する。
馬路村消防団団長 平山崇氏勇退する。

- 平成28年 4月 1日 消防次長兼消防署長 西山和則氏 消防長に就任する。
消防本部警防係長兼第二消防隊長 鎌野哲也氏 次長兼署長に就任する。
消防職員1名採用（計37名）
中屋博義氏 馬路村消防団団長に就任する。
- 4月27日 馬路村消防団 高知県知事より表彰旗を授与される。
- 4月29日 元中芸広域連合消防本部消防司令長 小松敏夫氏、瑞宝双光章を授与される。
- 7月31日 田野町消防団団長 安岡雄造氏勇退する。
- 8月 1日 牛窓恭助氏 田野町消防団団長に就任する。
- 11月 3日 元中芸広域連合消防本部消防司令 若江正氏、瑞宝単光章を授与される。
- 平成29年 1月27日 救助工作車（資機材搬送車）を購入し、消防署に配置する。
平成28年度高知県緊急用ヘリコプター離着陸場整備事業費補助金を活用した結いの丘ヘリコプター離着陸場整備事業 工事着手
- 2月23日 北川村が小型動力ポンプ付積載車を購入し、北川村消防団に配置する。
- 3月 7日 中芸広域連合安田町消防団に日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
- 3月30日 結いの丘 緊急用ヘリコプター離着陸場整備事業 工事完了
- 3月31日 安田町消防団団長 小松寛之氏勇退する。
- 4月29日 元中芸広域連合馬路村消防団団長 平山 崇 氏、瑞宝双光章、元中芸広域連合北川村消防団副団長 前田和昭 氏、瑞宝単光章を授与される。
- 5月18日 連合長 安岡雅徳 氏（田野町長）任期満了により退任する。
- 5月23日 常石博高 氏（田野町長）連合長に就任する。
- 8月17日 消防用搬送車を購入し、消防署に配置する。
- 11月 3日 元中芸広域連合田野町消防団団長 安岡雄造 氏、瑞宝双光章を授与される。
奈半利町消防団団長 宮地 誓 氏、高知県知事より災害防除功労者として表彰される。
- 平成30年 5月17日 奈半利町消防団 高知県知事より表彰旗を授与される。
- 平成31年 3月31日 消防長 西山和則 氏 勇退する。
- 4月 1日 消防次長兼消防署長 鎌野哲也 氏 消防長に就任する。
総務係長兼次席 中村健次 氏 消防次長に、警防係長兼次席 山本武夫 氏 警防係長兼消防署長に就任する。

総 務（庶務）

1. 中芸5ヶ町村の面積、人口

区 分 町 村	面 積 (Km ²)	人 口		世 帯 数	
		国 勢 調 査 H 27. 10. 1	住民基本台帳 H 31. 3. 31	国 勢 調 査 H 27. 10. 1	住民基本台帳 H 31. 3. 31
奈 半 利 町	28. 32	3, 285	3, 192	1, 447	1, 715
田 野 町	6. 53	2, 734	2, 622	1, 185	1, 310
安 田 町	52. 36	2, 631	2, 690	1, 146	1, 288
北 川 村	196. 91	1, 294	1, 290	582	621
馬 路 村	165. 48	823	870	391	419
計	449. 60	10, 767	10, 664	4, 751	5, 353

2. 中芸5ヶ町村平成30年度消防費決算額

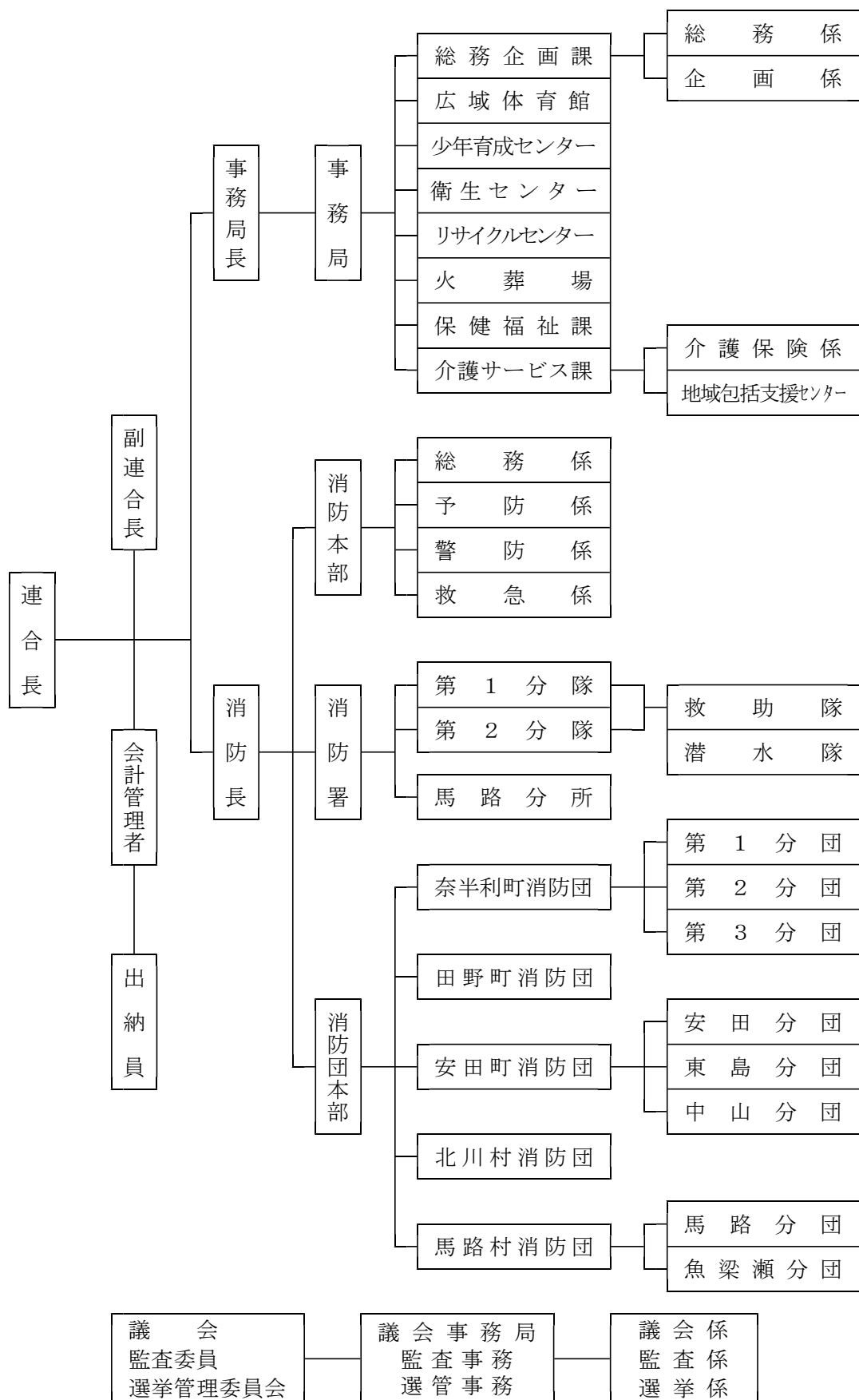
区 分 町 村	消 防 費 歳 出 決 算 額 (千 円)	普 通 会 計 歳 出 決 算 額 (千 円)	消防費にかかる 基準財政需要額 (千 円)	普通会計決算額 と消防費の割合 (%)
奈 半 利 町	187, 077	11, 028, 344	84, 343	1. 70
田 野 町	77, 789	2, 664, 682	66, 523	2. 92
安 田 町	132, 831	2, 813, 436	73, 913	4. 72
北 川 村	60, 415	2, 744, 564	47, 392	2. 20
馬 路 村	76, 767	2, 021, 454	34, 126	3. 80
計	534, 879	21, 272, 480	306, 297	15. 34

3. 人口等にかかる消防費の割合

区 分 町 村	人口1人当たりの消防費（円）	1世帯当たりの消防費（円）
奈 半 利 町	58, 608	109, 083
田 野 町	29, 668	59, 381
安 田 町	49, 380	103, 130
北 川 村	46, 833	97, 287
馬 路 村	93, 277	196, 335
計	277, 766	565, 216

4. 連 合 の 組 織

H31. 4. 1 現在



5. 事 務 分 掌

消 防 本 部

総 務 係

1. 消防事務の企画及び総合調整に関すること。
2. 消防職員の人事及び給与等に関すること。
3. 消防職員の教養、服務及び規律に関すること。
4. 消防職員委員会に関すること。
5. 消防団に関すること。
6. その他、消防事務に関し他の主管に属さない事項。

警 防 係

1. 消防署の消防計画に関すること。
2. 各種災害の警戒防ぎよに関すること。
3. 消防職団員の教育訓練に関すること。
4. 相互応援協定に関すること。
5. 消防通信施設の運用管理に関すること。
6. 通信関係の各種手続に関すること。
7. 消防地理・水利に関すること。
8. 消防大会、出初式に関すること。
9. 消防本部、消防団の機械器具の維持管理に関すること。
10. 消防用機械器具台帳の整理及び管理に関すること。
11. 消防用燃料の備蓄及び管理に関すること。
12. 防火避難訓練に関すること。
13. 消防気象に関すること。
14. 救助に関すること。
15. 警防関係の物品購入伺契約に関すること。
16. その他警防事務全般に関すること。

予 防 係

1. 防火対象物の強制執行等に関すること。
2. 防火思想の普及宣伝、訓練に関すること。
3. 法令違反者の告発に関すること。
4. 防火管理者に関すること。
5. 予防査察に関すること。

6. 消防用設備の指導取締りに関すること。
7. 建築物の同意事務に関すること。
8. 不法建築物の指導取締りに関すること。
9. 各種届出（予防関係）に関すること。
10. 火災予防条例に関すること。
11. 危険物の許可、認可、届出検査に関すること。
12. 少量危険物の指導取締りに関すること。
13. 危険物施設等の査察に関すること。
14. 火災等の原因調査、事務に関すること。
15. 被災証明に関すること。
16. 予防関係に関する物品購入伺契約に関すること。
17. その他予防事務全般に関すること。

救 急 係

1. 救急医療体制に関すること。
2. 救急隊員の教育訓練に関すること。
3. 救急用機械器具の維持管理に関すること。
4. 救急用物品購入伺契約に関すること。
5. 救急統計事務に関すること。
6. 救急搬送証明に関すること。
7. 各種団体の応急処置の指導に関すること。
8. その他救急事務に関すること。

消 防 署

消 防 隊

1. 水火災の警戒鎮圧に関すること。
2. 水防及び災害活動並びに救急事務に関すること。
3. 消防通信及び受付勤務に関すること。
4. 火災の予防査察に関すること。
5. 消防施設の整備、点検及び保全に関すること。
6. 地理、水利の調査保全に関すること。
7. 火気使用設備器具の防火指導に関すること。
8. 各種催し物による人命救助
9. 火災の予防及び警戒上必要な諸願届に関すること。

10. 火災の原因及び損害の調査協力に関すること。
11. 建築同意事務に関すること。
12. 教養訓練及び消防技術に関すること。
13. 気象観測に関すること。
14. 消防署・団の機械器具点検、維持管理に関すること。
15. 消防署購入の物品購入何に関すること。
16. その他消防署全般に関すること。

馬 路 分 所

1. 消防通信に関すること。
2. 火災の予防査察に関すること。
3. 火気使用設備器具の防火指導に関すること。
4. 消防施設の整備、点検保全に関すること。
5. 地理、水利の調査保全に関すること。
6. 火災予防及び警戒上必要な諸願届に関すること。
7. 気象観測に関すること。
8. 所轄消防団事務に関すること。
9. 消防団員の教育訓練に関すること。
10. その他馬路分所全般に関すること。

6. 消防本部（署）庁舎の状況

1. 位 置	高知県安芸郡田野町木の下1406の1番地
2. 工 期	着工 昭和45年10月10日 完成 昭和46年 3月20日
3. 設 計 管 理	株式会社 MA設計事務所
4. 施 工	株式会社 岸之上工務店
5. 構 造	鉄筋コンクリート2階建
6. 敷地面積	691.00㎡
7. 建物面積	1階 243.07㎡ 2階 220.15㎡ 中3階 7.04㎡
8. 工 事 費	17,300,000円
9. 付帯設備費	5,884,000円 敷地造成工事、消防電話他 平成28年3月7日解体

◎ 増築の状況

(1)

1. 工 期	着工 昭和62年 9月 1日 完成 昭和62年11月10日
2. 設 計 管 理	有限会社 安岡建築研究所
3. 施 工	有限会社 柴原建設
4. 構 造	鉄骨平屋建
5. 面 積	仮眠室、食堂 56.00㎡ 庇 36.20㎡
6. 工 事 費	5,800,000円 仮眠室、食堂増築工事 3,749,623円 内部改修工事 1,355,751円 平成28年3月7日解体

(2)

1. 工 期	着工 平成6年4月25日 完成 平成6年8月 1日
2. 設 計 管 理	有限会社 安岡建築研究所
3. 施 工	有限会社 柴原建設
4. 構 造	木造平屋建
5. 面 積	仮眠室 18.3㎡
6. 工 事 費	5,768,000円

仮眠室増築工事 2, 419, 360円
 署内部改修工事 2, 672, 002円
 平成28年3月7日解体

◎ 新庁舎の状況

1. 位 置 高知県安芸郡田野町1440番地1
2. 工 期 着工 平成26年 6月20日
 完成 平成27年 3月27日
3. 設 計 管 理 株式会社 細木建築研究所
4. 施 工 株式会社 轟組
5. 構 造 鉄筋コンクリート4階建
6. 敷 地 面 積 7, 393. 83㎡
7. 建 物 面 積 1階 900. 39㎡ 2階 605. 43㎡ 3階 2階に同じ
 4階 57. 18㎡ 延べ床面積 2, 168. 43㎡
8. 工 事 費 620, 676, 000円
9. 付帯設備費
 - (1)地質調査 3, 604, 650円
 - (2)消防庁舎造成工事 35, 344, 000円
 - (3)消防庁舎排水構造物工事 22, 642, 200円
 - (4)消防・救急デジタル無線整備事業 298, 512, 000円

◎ 旧庁舎解体の状況

1. 位 置 高知県安芸郡田野町木の下1406番地1
2. 工 期 着工 平成27年11月30日
 完成 平成28年 3月 7日
3. 設 計 管 理 株式会社 細木建築研究所
4. 施 工 有限会社 柴原建設
5. 構 造 鉄筋コンクリート2階建及び木造平屋建
6. 敷 地 面 積 691. 00㎡
7. 建 物 面 積 1階 243. 07㎡ 2階 220. 15㎡ 中3階 7. 04㎡
 仮眠室、食堂 56. 00㎡ 庇 36. 20㎡
8. 工 事 費 14, 688, 000円

7. 消防殉職者名簿

所属・階級	殉職者氏名	事 績（碑文より転記）
安田町警防団 警防手	西 岡 繁 吉 遺族 大甥 西岡達矢	君資性温順、寡黙家業に励み交友に厚く、当町消防手としてもっとも忠実に同輩の敬慕深かりしが、昭和3年11月4日警鐘台建設の際不幸其の職に殉ず、実に痛惜の至りなり、安田町は、其の尊き犠牲を永久に伝ふべく、町葬として共同墓地に埋葬せり。 享年25才
安田町消防団 安田分団 部 長	黒 岩 孝 遺族 妻 黒岩 都	昭和45年3月20日、小野妙見山林火災に出動し、消火作業中猛火に包まれ殉職す。国より勲八等白色桐葉章を贈られる。安田町は君の尊い犠牲を永久に顕彰するため町葬を行い、ここに埋葬する。 享年38才
中芸消防組合 消防署 消防司令補	安 岡 安 遺族 姉 安岡雅子	君は昭和46年7月26日、北川村加茂谷川に出動し救助活動中、濁流に吞まれ殉職す。その功により国より勲七等青色桐葉章を贈られる。中芸消防組合は君の尊い犠牲を永久に顕彰するため組合葬を行い、ここに埋葬す。 享年19才
中芸広域連合 消防本部 消防司令	田 村 善 一 遺族 妻 田村利香	平成27年4月10日、中芸広域連合旧消防庁舎において勤務中、不慮の事故により受傷。4月23日殉職それまでの公務に対する功により国より6月26日、叙位 従七位・瑞宝単光章を贈られる。 公益財団法人日本消防協会並びに高知県消防協会からその功績を讃え顕章状が贈られる。中芸広域連合からも特別功労章を贈り、その功績を永久に顕彰する。 享年58才

8. 故安岡司令補追悼歌

作詞 高 松 幹 男
作曲 細 川 高 義

1. あけぼのさやかに野根の山、らんまんの花咲きにおう
誇りも高く集い来し、ますらお我等火の護り
2. 五稜の灘に果てしなく、のぼる若鮎はつらつと
郷土に愛を捧げべく、誓いは固し健男児
3. 頃は七月末っ方、雷鳴しげく雲速き
家も畑も田も森も、大河の中に沈みゆく
4. 加茂川堤水深く、暁闇衝いて司令補は
一せん闇に姿消ゆ、呼べど帰らぬ人なりき
5. 哀憾深き母君へ、慕情はかなくしみじみと
語る友あり頬あかき、青春の旧友いざさらば
6. 神の峰の森高く、昇りし月もまだ若き
神を偲びて伝統の、使命ひたすら果すべし

9. 相互応援等協定締結状況

応援等協定締結団体名	応援等協定締結年月日	締結方法	応援等協定の内容
高知県下市町村 及び消防本部	平成8年2月29日	文書	火災、風水害に関する事 その他
東洋町	平成10年7月16日	文書	〃
安芸市	平成10年7月17日	文書	〃
室戸市	平成10年7月21日	文書	〃
高知県消防防災 ヘリコプター	平成20年7月30日	文書	水火災又は地震等の災害での 航空機の支援
安芸警察署	平成20年12月12日	文書	事件、事故、災害等の110番 通報及び119番通報された緊 急情報を相互通報

総 務（人事教養）

1. 消防職員の定員及び配置状況

H31. 4. 1 現在

階 級 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
定 員		1	4	7	7	6	15	40
実 員		1	4	7	7	6	13	38
配 置	本 部	1	4	7			1	13
	消 防 署		(1)	(5)	5	6	12	29
	馬 路 分 所				1			1
	高知県防災航空隊派遣				1			1

※（ ）は兼任

2. 消防職員の年齢別調

H31. 4. 1 現在

階 級 区 分	消 防 吏 員						計
	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
18 才 ～ 20 才						2	2
21 才 ～ 25 才						3	3
26 才 ～ 30 才					1	7	8
31 才 ～ 35 才				1	4	1	6
36 才 ～ 40 才				6	1		7
41 才 ～ 45 才			5				5
46 才 ～ 50 才		1	2				3
51 才 ～ 55 才		1					1
56 才 以 上	1	2					3
計	1	4	7	7	6	13	38

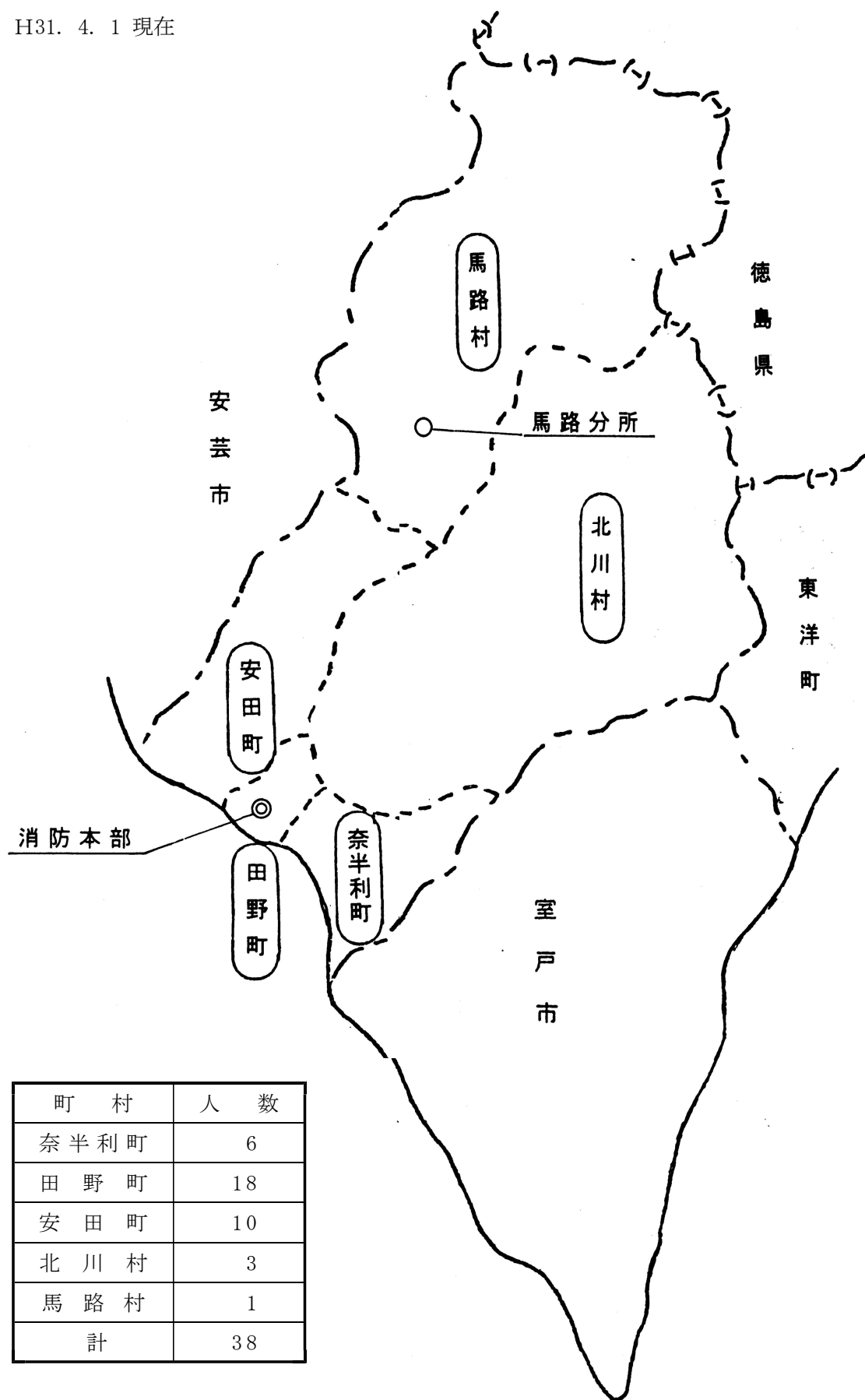
3. 消防職員の特殊技能資格取得状況

H31. 4. 1 現在

階 級 区 分 人 数	消 防 吏 員						計
	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
	1	4	7	7	6	13	38
大 型 免 許		2	4	1		1	8
大 型 特 殊 免 許			1			1	2
第 1 種 けん引 免 許			1				1
中 型 ・ 普 通 免 許	1	4	7	7	6	13	38
自 動 二 輪 免 許	1	2	4	2	1	5	15
特殊無線技士(無線電話乙)		1	2	7	6	12	28
危険物取扱者(乙種4類)		1	4	7	6	8	26
危険物取扱者(丙種)		2	2	1	1		6
指 導 救 命 士			1				1
救 急 救 命 士		2	5	4	3		14
救急科(標準課程含む)	1	4	7	7	6	12	37
日 赤 救 急 員 適 任 証	1	3	2	3	3	8	20
日 赤 水 難 救 急 適 任 証					4	10	14
応 急 手 当 指 導 員	1	4	7	7	6	1	26
小 型 船 舶 操 縦 士		2	2	2			6
潜 水 士		2	6	4	3	3	18
小型移動式クレーン運転技能講習終了証	1	1	2	2	3	2	11
玉掛け技能講習修了証		1	2		2		5
銃 砲 所 持 許 可 証		1					1
スクーバダイビング		1	1				2
予防技術検定(防火査察)	1	1					2
予防技術検定(消防用設備)	1						1
予防技術検定(危険物)	1						1

4. 消防職員の住居状況

H31. 4. 1 現在



R 元. 6. 1 現在

6. 歴代管理者及び連合長

R 元. 6. 1 現在

7. 歷代消防長

H31. 4. 1 現在

– 37 –

8. 消防職員の研修状況

H31. 4. 1 現在

階 級 研修の種別			30 年 度 中	累 計						
				消 防 司 令 長 (1)	消 防 司 令 (4)	消 防 司 令 補 (7)	消 防 士 長 (7)	消 防 副 士 長 (6)	消 防 士 (13)	合 計
大 学 校	幹 部 研 修 科									
	警 防 科									
	救 助 科				1					1
高 知 県 消 防 学 校	専 科 教 育	初 任 科	2	1	4	7	7	6	11	38
		幹 部 科		1	2	1				4
		警 防 科	1		2	3	1			7
		無 線 科	2		1	2	7	6	11	29
		予 防 査 察 科		1	2	1	3			7
		火 災 調 査 科	1	1	2	4	1			9
		救急Ⅰ・Ⅱ課程		1	4	7	3			15
		救急科(標準課程含む)	2				4	6	10	22
		救 助 科	1	1	3	4	4	4		17
	特 別 教 育	水難救助課程			1	1				2
		応急手当指導員講習Ⅰ		1	4	7	7	6	1	26
		気管挿管講習			2	3				5
		薬剤投与講習			1	4	1			6
		予防査察指導者研修	1							1
		若 年 層 研 修	1							1
		指導者育成研修	1							1
		火災性状体験研修	1							1
救 急 救 命 研 修 所		1		2	5	4	3		15	
指 導 救 命 士 養 成 研 修					1				1	
気 管 挿 管 病 院 実 習				2	5	4	3		14	
薬 剤 投 与 病 院 実 習				1	5	4	3		13	

総 務（財務）

1. 平成31年度歳入歳出一般会計当初予算額（広域連合）

歳 入

（単位：千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1. 分担金及び負担金	844,238	825,417	18,821
2. 使用料及び手数料	23,118	24,338	△1,220
3. 国庫支出金	200,364	190,196	10,168
4. 県支出金	102,748	100,232	2,516
5. 財産収入	20	29	△9
6. 寄附金	1	1	0
7. 繰入金	0	0	0
8. 繰越金	1,000	1,000	0
9. 諸収入	19,669	19,544	125
合 計	1,191,158	1,160,757	30,401

歳 出

（単位：千円）

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	本年度予算の財源内訳			
				特 定 財 源			一 般 財 源
				国・県支出金	地方債	そ の 他	
1. 議会費	1,030	1,028	2	0	0	1,030	0
2. 総務費	64,287	58,864	5,423	0	0	63,787	500
3. 民生費	444,848	430,310	14,538	295,358	0	149,490	0
4. 衛生費	286,338	281,405	4,933	7,754	0	278,084	500
5. 商工費	0	0	0	0	0	0	0
6. 消防費	363,265	358,285	4,980	0	0	363,265	0
7. 教育費	14,347	13,572	775	0	0	14,347	0
8. 公債費	16,043	16,293	△250	0	0	16,043	0
9. 予備費	1,000	1,000	0	0	0	1,000	0
合 計	1,191,158	1,160,757	30,401	303,112	0	887,046	1,000

2. 平成30年度歳入歳出一般会計決算額（広域連合）

歳 入

（単位：千円）

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額
1. 分担金及び負担金	760,158	760,157	760,157	0
2. 使用料及び手数料	24,338	23,652	23,652	0
3. 国庫支出金	190,196	187,369	187,369	0
4. 県支出金	98,567	96,662	96,662	0
5. 財産収入	29	10	10	0
6. 寄附金	1	0	0	0
7. 繰入金	0	0	0	0
8. 繰越金	95,164	95,164	95,164	0
9. 諸収入	18,803	22,127	22,127	0
合 計	1,187,256	1,185,141	1,185,141	0

歳 出

（単位：千円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1. 議会費	1,028	848	0	180
2. 総務費	69,416	62,929	2,182	4,305
3. 民生費	446,331	399,276	0	47,055
4. 衛生費	281,500	260,182	0	21,318
5. 商工費	0	0	0	0
6. 消防費	359,111	340,861	0	18,250
7. 教育費	13,441	12,961	0	480
8. 公債費	16,170	16,147	0	23
9. 予備費	259	0	0	259
合 計	1,187,256	1,093,204	2,182	91,870

歳入合計 1,185,141千円

歳出合計 1,093,204千円

歳入歳出差引残額 91,937千円

繰越明許費繰越額 2,182千円

実質収支額 89,755千円

3. 平成30年度性質別歳出決算額

(単位：千円)

区 分 \ 項 目		計	人 件 費	うち職員給	物 件 費	維持補修費	補 助 費	普通建設費	繰 出 金	扶 助 費	積 立 金
常 備 消 防 費		303,710	271,206	202,104	23,345	0	4,594	0	0	4,565	0
非 常 備 消 防 費	奈 半 利 町	10,018	2,496	0	4,654	0	2,868	0	0	0	0
	田 野 町	4,417	1,254	0	1,657	0	1,506	0	0	0	0
	安 田 町	10,284	2,395	0	5,049	0	2,840	0	0	0	0
	北 川 村	3,825	1,033	0	1,507	0	1,285	0	0	0	0
	馬 路 村	8,607	1,801	0	4,336	0	2,470	0	0	0	0
	計	37,151	8,979	0	17,203	0	10,969	0	0	0	0
合 計		340,861	280,185	202,104	40,548	0	15,563	0	0	4,565	0
構 成 比 率 %		100.00	82.20	59.29	11.90	0	4.57	0.00	0.00	1.34	0.00

4. 平成30年度財源内訳

(単位：千円)

区 分 \ 項 目	計	分 担 金 金	使 用 料 料	国 支 出 金	財 産 収 入	繰 入 金	繰 越 金	諸 収 入	連 合 債	翌年度への繰越金
常 備 消 防 費	322,833	292,211	90	0	0	0	9,699	8,536	0	本部、署 9,699
非 常 備 消 防 費	36,990	36,990	0	0	0	0	12,297	0	0	奈半利町 2,263
計	359,823	329,201	90	0	0	0	21,996	8,536	0	田野町 1,812
										安田町 3,959
										北川村 2,069
構 成 比 率 %	100.00	91.49	0.03	0.00	0.00	0.00	6.11	2.37	0.00	馬路村 2,194
										計 21,996

警 防

1. 消防機械配置状況

H31. 4. 1 現在

種 別		消 防 車	小 型 動 力 ポ ン プ	積 載 車	小 付 型 動 水 力 ポ 槽 ン プ 車	救 助 工 作 車	高 救 規 急 格 車	指 令 車	広 報 車	二 輪 車	計
所 属											
消 防 署		2	1	2	1	1	3	1	1	2	14
防 団	消 防 団 本 部							2	1		3
	奈 半 利 町										
	第 1 分 団	1	2	1							4
	第 2 分 団	1	2	1							4
	第 3 分 団	1	2	1							4
	田 野 町	2	2	1							5
	安 田 町										
	安 田 分 団	1	2	1							4
	東 島 分 団	1	2	1							4
	中 山 分 団	1	2	1							4
	北 川 村	1	2	1							4
	馬 路 村										
	馬 路 分 団	1	3	1							5
	魚 梁 瀬 分 団	1	3	1							5
合 計		13	23	12	1	1	3	3	2	2	60

2. 消防機械種別表

(1) 消防ポンプ自動車等種別表

H31.4.1現在

分 所 属		区	種 別	級別	年式	車 名	ポンプ 製 造 所	馬力数	購 入 配車年月日
中 芸 消 防 署			普通ポンプ車	A 2	2011	日 野	小 川	150	H24. 3. 2
			普通ポンプ車	A 2	2010	日 野	森 田	150	H23. 3. 22
			小型動力ポンプ付 水 槽 車	B 2	2007	日 野	富士ロビン	180 (62)	H19. 11. 26
			救 助 工 作 車 (資機材搬送車)	4WD	2017	日 野	——	136	H29. 1. 27
			積 載 車	4WD	2017	日 野	——	136	H29. 8. 17
			軽 四 積 載 車	4WD	1990	三 菱	——	42	H 2. 9. 6
			指 令 車	4WD	2007	ニッサン	——	137	H19. 3. 6
			高 規 格 車 救 急 車	4WD	2009	ト ヨ タ	——	151	H21. 12. 4
			高 規 格 車 救 急 車	4WD	2004	ニッサン	——	240	H16. 10. 26
			高 規 格 車 救 急 車	4WD	2014	ト ヨ タ	——	151	H27. 3. 26
			軽 四 広 報 車	2WD	2013	三 菱	——	42	H25. 8. 27
			カブ（ 2 台 ）		1988 2013	ホ ン ダ ホ ン ダ	—— ——		S 63. 11. 28 H25. 9. 27
消 防 団	消 防 団 本 部		指 令 車 防 災 広 報 車	4WD 2WD	2018 2014	スバル ニッサン	—— ——	136 85	H30. 12. 13 H26. 2. 26
	奈 半 利 町	第 1 分団	普通ポンプ車	A 2	2013	ト ヨ タ	日本機械	160	H25. 11. 19
		第 2 分団	普通ポンプ車	A 2	2014	ト ヨ タ	日本機械	160	H26. 11. 13
		第 3 分団	普通ポンプ車	A 2	2006	ト ヨ タ	吉 谷	150	H18. 3. 3
	田 野 町		普通ポンプ車	A 2	2011	ト ヨ タ	日本機械	150	H24. 3. 27
			普通ポンプ車	A 2	1991	ニッサン	森 田	160	H 3. 10. 28
	安 田 町	安田分団	普通ポンプ車	A 2	2012	ト ヨ タ	小 川	150	H24. 10. 26
		東島分団	普通ポンプ車	A 2	2007	ト ヨ タ	日本機械	150	H19. 11. 22
		中山分団	普通ポンプ車	A 2	2006	ト ヨ タ	小 川	150	H18. 11. 22
	北 川 村		普通ポンプ車	A 2	2005	ト ヨ タ	ナカムラ消防化学	150	H17. 12. 26
	馬 路 村	馬 路 分 団	普通ポンプ車	A 2	2010	日 野	小 川	160	H22. 8. 31
		魚梁瀬分団	普通ポンプ車	A 2	2018	日 野	森 田	136	H30. 11. 1

(2) 小型動力ポンプ種別表

H31. 4. 1 現在

区 分 所 属			名 称	級別	年式	ポ ン プ 製 造 所	ポンプ 形 式	馬力数	購入年月日	
消 防 署			ラビット	C-1	1997	富士ロビン	P381	15	H 9. 12. 19	
消 防 団	奈 半 利 町	第 1 分団	シバウラ	B-3	2019	芝 浦	FF450ZXI	40	H31. 2. 21	
			シバウラ	C-1	2019	芝 浦	FT300M	12	H31. 2. 21	
		第 2 分団	シバウラ	B-3	2004	芝 浦	SF656MZ	58	H16. 3. 8	
			ラビット	C-1	2004	富士重工業	P382M	15	H16. 3. 8	
		第 3 分団	ラビット	B-3	2010	富士重工業	Fi7000	44	H23. 2. 10	
			ラビット	C-1	2010	富士重工業	P383S	12	H23. 2. 10	
	田 野 町	シバウラ	B-3	2008	芝 浦	SF656AZ	58	H20. 3. 31		
		ラビット	C-1	1999	富士ロビン	P381	15	H11. 10. 14		
	安 田 町	安 田 分団	ラビット	B-3	2016	富士ロビン	P477	62	H28. 2. 2	
			ラビット	C-1	2016	富士ロビン	P383	18	H28. 2. 2	
		東 島 分団	トーハツ	B-2	2018	トーハツ	VF63AS	30	H30. 2. 22	
			シバウラ	C-1	2018	芝 浦	FT300M	12	H30. 2. 22	
		中 山 分団	トーハツ	B-2	2018	トーハツ	VF63AS	30	H30. 2. 22	
			シバウラ	C-1	2018	芝 浦	FT300M	12	H30. 2. 22	
	北 川 村	シバウラ	B-3	2017	芝 浦	B716	40	H29. 2. 23		
			C-1	2017	芝 浦	C505	11	H29. 2. 23		
		馬 路 村	シバウラ	B-2	2003	芝 浦	B716	62	H15. 7. 23	
				C-1	2003	芝 浦	TF516	15	H15. 7. 23	
			ラビット	C-1	2010	マキタ沼津	P383S	12	H22. 8. 31	
				B-2	2009	マキタ沼津	Fi8000S	43	H21. 3. 23	
				トーハツ	C-1	2018	トーハツ	2WF55A	11	H30. 11. 1
					C-1	2009	マキタ沼津	P382M	15	H21. 3. 23

(3) 積載車種別表

H31. 4. 1 現在

所 属			区 分	車 名	種 別	年 式	馬力数	購入年月日 配車
消 防 団	奈 半 利 町	第 1 分団		ト ヨ タ	普 通 四 駆	2019	144	H31. 2. 21
		第 2 分団		ニッサン	普 通 四 駆	2004	105	H16. 3. 8
		第 3 分団		ト ヨ タ	普 通 四 駆	2010	144	H23. 2. 10
	田 野 町			ニッサン	普 通 四 駆	2008	130	H20. 3. 31
	安 田 町	安 田 分団		ト ヨ タ	普 通 四 駆	2015	144	H28. 2. 2
		東 島 分団		ト ヨ タ	普 通 四 駆	2018	144	H30. 2. 22
		中 山 分団		ト ヨ タ	普 通 四 駆	2018	144	H30. 2. 22
	北 川 村			ト ヨ タ	普 通 四 駆	2017	144	H29. 2. 23
	馬 路 村	馬 路 分団		ニッサン	普 通 四 駆	2003	105	H15. 7. 23
		魚 梁 瀬 分団		三 菱	普 通 四 駆	2009	110	H21. 3. 23

(4) 無線通信施設 (デジタル無線)

H31. 4. 1 現在

局 の 種 別	周 波 数 F 3 E						空中線 電 力	呼 出 名 称	設 置 場 所 及 び 車 輛 名	許 可 設 置 年 月 日
	1	2	3	4	5	6				
基 地 局	○	○	○	○	○	○	20W	ちゅうげいしょうぼう	消 防 本 部	H27. 3. 20
	○	○	○	○	○	○	20W	ちゅうげいしょうぼうまじ	馬 路 分 所	H27. 3. 20
陸上移動局(可搬)	○	○	○	○	○	○	5 W	ちゅうげいしょうぼうかはん	消 防 本 部	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 1	消 防 1 号 車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 2	消 防 工 作 車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 3	消 防 3 号 車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 4	水 槽 車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 5	指令車(団本部)	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 6	指令車(分所)	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 9	積 載 車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 10	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 11	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 12	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 13	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 14	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 15	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 16	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 17	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 18	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 19	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 20	消防署 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 21	消防署 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいきゅうきゅう 1	高規格救急車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいきゅうきゅう 2	高規格救急車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいきゅうきゅう 3	高規格救急車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 30	田野町消防団消防車	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 31	田野町消防団消防車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 32	田野町消防団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 35	田野町消防団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 36	田野町消防団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 37	田野町消防団 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 40	安田分団消防車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 41	安田分団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 42	安田分団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 43	安田分団 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 45	東島分団消防車	H27. 3. 20

局 の 種 別	周 波 数 F 3 E						空中線 電 力	呼 出 名 称	設 置 場 所 及 び 車 輛 名	許可 設置 年月日
	1	2	3	4	5	6				
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 46	東島分団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 47	東島分団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 48	東島分団 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 50	中山分団消防車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 51	中山分団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 52	中山分団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 53	中山分団 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 60	第 1 分団消防車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 61	第 1 分団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 62	第 1 分団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 63	第 1 分団 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 65	第 2 分団消防車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 66	第 2 分団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 67	第 2 分団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 68	第 2 分団 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 70	第 3 分団消防車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 71	第 3 分団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 72	第 3 分団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 73	第 3 分団 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 80	北川村消防団消防車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 81	北川村消防団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 85	北川村消防団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 86	北川村消防団 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 90	馬路分団消防車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 91	馬路分団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 92	馬路分団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 93	馬路分団 携帯	H27. 3. 20
車載型無線装置	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 100	魚梁瀬分団消防車	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	10W	ちゅうげいしょうぼう 101	魚梁瀬分団積載車	H27. 3. 20
携帯型無線装置	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 102	魚梁瀬分団 携帯	H27. 3. 20
〃	○	○	○	○	○	○	2 W	ちゅうげいしょうぼう 103	魚梁瀬分団 携帯	H27. 3. 20

3. 消防水利状況

H31. 4. 1 現在

区分 町村	消 火 栓			防 火 水 槽					
	50mm 以下	65mm	計	20㎡ 未満	20㎡以上 30㎡未満	30㎡以上 40㎡未満	40㎡以上 50㎡未満	50㎡ 以上	計
奈 半 利 町		103	103		5	1	34	7	47
田 野 町	2	92	94	1	2		31	10	44
安 田 町	39	73	112	4	25	7	44	12	92
北 川 村	7	102	109			1	39	3	43
馬 路 村	18	58	76	3	2	1	26	5	37
計	66	428	494	8	34	10	174	37	263

4. 気象通報受信状況（高知地方気象台調）高知県東部(安芸)地区

H30. 1. 1～H30. 12. 31

種 別 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
風 雪 注 意 報	1	4										1	6
強 風 注 意 報	19	8	16	10	14	9	6	4	5	6	5	6	108
大 雨 注 意 報		1	2	3		4	2	4	4				20
大 雪 注 意 報	1	2											3
高 潮 注 意 報			1		2	1	2	5	6	5		1	23
波 浪 注 意 報	19	13	15	10	14	10	16	10	12	6			125
洪 水 注 意 報						1	5	2	1				9
着 雪 注 意 報													
乾 燥 注 意 報	16	19	14	6	3					1	5	4	68
濃 霧 注 意 報													
霜 注 意 報			3	2									5
高 温 注 意 報						1							1
融 雪 注 意 報													
低 温 注 意 報													
着 水 注 意 報													
雷 注 意 報	5	3	9	6	8	14	25	18	19	10	2	2	121
竜 巻 注 意 情 報							3	1					4
暴 風 警 報							1	1					2
暴 風 雪 警 報													
大 雨 警 報							7	1	1				9
大 雪 警 報													
高 潮 警 報													
波 浪 警 報			2					3	1	1			7
洪 水 警 報								2					2

5. 救助出動状況

H30. 1. 1～H30. 12. 31

事故別 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火 災 事 故													
交 通 事 故				1	1			1			1		4
水 難 事 故													
風水害等自然災害													
機械による事故													
建物等による事故													
ガス及び酸欠事故													
破 裂 事 故													
そ の 他			1							1			2
合 計			1	1	1			1		1	1		6

火 災 統 計

1. 発 生 状 況

H30. 1. 1～H30.12.31

区分 月別	出火件数						焼 損 棟 数	り 災 世 帯 数	り 災 者 数	死傷者数		焼 損 面 積			損 害 額（千円）						
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他				死 者	負 傷 者	建 物 （㎡）	林 野 （a）	そ の 他 （㎡）	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	計	
1	1					1								81.40							
2	3	1				2	1	1	1			75.01		791.46 (79.69)	651				2,041	2,692	
3																					
4	1	1					1					203.68			2,367					2,367	
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
計	5	2				3	2					278.69		872.86 (79.69)	3,018				2,041	5,059	

※ 焼損面積欄の（ ）内の数値は焼損表面積

2. 年次別火災状況

期間 (1. 1～12. 31)

年次 \ 区分	件 数	焼 損 面 積	損 害 見 積 額 (千 円)
平成 18 年	9	建 物	760.00m ²
		林 野	20 a
平成 19 年	6	建 物	385.00m ²
		林 野	0 a
平成 20 年	8	建 物	371.00m ²
		林 野	0 a
平成 21 年	4	建 物	112.00m ²
		林 野	0 a
平成 22 年	2	建 物	164.00m ²
		林 野	0 a
平成 23 年	9	建 物	134.60m ²
		林 野	0 a
平成 24 年	3	建 物	0m ²
		林 野	25 a
平成 25 年	6	建 物	226.32m ²
		林 野	0.81 a
平成 26 年	6	建 物	137.50m ²
		林 野	0.51 a
平成 27 年	11	建 物	595.52m ²
		林 野	0 a
平成 28 年	6	建 物	157.01m ²
		林 野	15.2 a
平成 29 年	7	建 物	269.56m ²
		林 野	0 a
平成 30 年	5	建 物	278.69m ²
		林 野	0 a

※ 建物の損害額は車両・船舶・その他も含む。

3. 町村別火災発生状況

期間（ 1. 1～12. 31）

年次 町村	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	計
奈 半 利 町	1	1	3	0	1	1	2	3	4	2	18
田 野 町	1	0	2	0	2	3	0	1	2	2	13
安 田 町	1	0	4	1	2	0	9	0	1	0	18
北 川 村	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	4
馬 路 村	0	1	0	1	1	2	0	0	0	1	6
計	4	2	9	3	6	6	11	6	7	5	59

4. 地域別火災状況・原因

H30. 1. 1～H30. 12. 31

出 火 (月・日・時・分)	発生町村	火災種別	焼損面積	損 害 額 (千円)	出 火 原 因
1月13日 13時50分	馬路村	その他	81.40㎡	0	その他の火の粉
2月9日 16時10分	奈半利町	その他	356.10㎡	0	その他の火の粉
2月18日 4時00分	田野町	その他	435.36㎡ (79.69㎡)	2,041	漏 電
2月26日 12時20分	奈半利町	建 物	75.01㎡	651	ガソリンの誤給油
4月24日 3時30分	田野町	建 物	203.68㎡	2,367	不 明
合 計		建 物	278.69㎡	3,018	
		林 野	a		
		車両(船舶)	隻		
		その他	872.86㎡	2,041	

※ 焼損面積の（ ）内は、焼損表面積

救 急 統 計

１．覚知別救急出場状況

H30. 1. 1～H30.12.31

覚知別 \ 月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
出 場 回 数		75	66	72	59	64	64	68	80	61	57	71	67	804
救 急 件 数		71	59	70	55	60	62	65	76	61	54	69	61	763
搬 送 人 員		73	60	70	55	61	62	66	76	61	55	69	61	769
専 用 電 話	出場回数	37	29	34	33	24	36	28	23	28	33	37	38	380
	搬送人員	36	25	32	32	23	36	28	21	28	31	35	34	361
携 帯 119	出場回数	24	24	27	12	20	17	23	39	19	12	17	15	249
	搬送人員	22	23	27	11	17	15	20	39	19	13	17	14	237
加 入 電 話	出場回数	9	10	9	8	13	8	14	11	11	8	14	9	124
	搬送人員	9	9	9	8	13	8	15	11	11	7	14	8	122
駆 け 込 み	出場回数	5	1	2	4	7	3	3	6	2	3	2	5	43
	搬送人員	6	1	2	3	7	3	3	4	2	3	2	5	41
警 察	出場回数		1		1					1				3
	搬送人員		1							1				2
消 防 無 線	出場回数											1		1
	搬送人員											1		1
その他	出場回数		1		1				1		1			4
	搬送人員		1		1				1		1			4

２．曜日別救急出場状況

H30. 1. 1～H30.12.31

曜日別 \ 月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
日		6	10	9	12	5	8	8	17	10	11	14	12	122
月		19	11	8	9	10	6	11	11	9	8	4	16	122
火		13	9	9	5	8	8	9	8	9	6	10	10	104
水		15	14	4	7	14	8	10	9	6	7	5	5	104
木		7	7	17	9	10	10	11	15	11	12	10	8	127
金		8	10	11	12	9	15	10	14	4	6	16	6	121
土		7	5	14	5	8	9	9	6	12	7	12	10	104
計		75	66	72	59	64	64	68	80	61	57	71	67	804

3. 事故別救急出場状況

H30. 1. 1～H30. 12. 31

月別 事故別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
出 場 回 数		75	66	72	59	64	64	68	80	61	57	71	67	804
救 急 件 数		71	59	70	55	60	62	65	76	61	54	69	61	763
搬 送 人 員	男	40	30	32	28	31	36	39	48	37	25	30	33	409
	女	33	30	38	27	30	26	27	28	24	30	39	28	360
不 搬 送 回 数		4	7	2	4	4	2	3	4		3	2	6	41
急 病	出 場 回 数	50	40	46	39	46	45	48	51	41	34	48	46	534
	搬 送 人 員	男	28	21	22	20	22	25	26	30	27	13	21	276
		女	20	16	23	16	22	18	19	17	14	19	25	230
交通 事故	出 場 回 数	5	5	1	2	5	1	3	6	5	1	3	1	38
	搬 送 人 員	男	2	3		1	4	1	4	5		2		27
		女	3	3	1	1			1			1		10
一般 負傷	出 場 回 数	8	10	13	8	8	11	8	10	8	12	11	12	119
	搬 送 人 員	男	5	3	4	1	3	6	5	5	1	8	3	50
		女	2	5	9	6	4	5	3	5	7	4	8	63
労働 災害	出 場 回 数		2	1	1	1		1	1					7
	搬 送 人 員	男			1	1	1		1	1				5
		女		2										2
運動 競技	出 場 回 数	1							1		1	1		4
	搬 送 人 員	男										1		1
		女	1						1		2			4
加 害	出 場 回 数	1						1					1	3
	搬 送 人 員	男												
		女	1					1					1	3
水難 事故	出 場 回 数													
	搬 送 人 員	男												
		女												
自損 行為	出 場 回 数			1					2		1			4
	搬 送 人 員	男							2					2
		女									1			1
火災 事故	出 場 回 数													
	搬 送 人 員	男												
		女												
自然 災害	出 場 回 数													
	搬 送 人 員	男												
		女												
転 院	出 場 回 数	9	8	10	9	4	7	7	9	7	8	8	8	94
	搬 送 人 員	男	4	3	5	5	1	4	3	5	4	4	3	47
		女	5	4	5	4	3	3	4	4	3	4	5	46
そ の 他	出 場 回 数	1	1											2
	搬 送 人 員	男	1											1
		女	1											1

事故別救急出場状況 その2

○事故別出場状況内の転送

急病	出場回数		4	一般 負傷	出場回数		1
	搬送人員	男	2		搬送人員	男	1
		女	1			女	
交通事故	出場回数			その他	出場回数		1
	搬送人員	男			搬送人員	男	1
		女				女	

○事故別出場状況内の救急救助

交通事故	出場回数		2	労働 災害	出場回数		
	搬送人員	男	1		搬送人員	男	
		女	1			女	
一般 負傷	出場回数		2	その他	出場回数		
	搬送人員	男	1		搬送人員	男	
		女	1			女	

4. 傷病程度状況

H30. 1. 1～H30. 12. 31

区分	性別	月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
軽 症	男	19	12	12	8	16	20	18	22	14	10	14	11	176
	女	14	14	16	12	12	8	14	13	9	12	14	16	154
	小 計	33	26	28	20	28	28	32	35	23	22	28	27	330
中 症	男	14	14	14	14	13	13	17	19	16	8	10	16	168
	女	18	13	14	13	13	16	11	13	11	12	18	10	162
	小 計	32	27	28	27	26	29	28	32	27	20	28	26	330
重 症	男	3	1	4	4	2	1	3	6	5	7	4	4	44
	女	1	3	7	2	3	2	1	2	1	3	4	1	30
	小 計	4	4	11	6	5	3	4	8	6	10	8	5	74
死 亡	男	2	1	1	1					1		2		8
	女					1				1		3		5
	小 計	2	1	1	1	1				2		5		13
そ の 他	男	2	2	1	1		2	1	1	1			2	13
	女			1		1		1		2	3		1	9
	小 計	2	2	2	1	1	2	2	1	3	3		3	22
計	男	40	30	32	28	31	36	39	48	37	25	30	33	409
	女	33	30	38	27	30	26	27	28	24	30	39	28	360
合 計		73	60	70	55	61	62	66	76	61	55	69	61	769

5. 事故別年齢区分別傷病程度別搬送人員調

H30. 1. 1～H30.12.31

区分	事故別 傷病程度	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	計
		事故	災害	事故	事故	災害	競技	負傷		行為				
新生児	死 亡													
	重 症												1	1
	中 症													
	軽 症										1			1
	そ の 他													
	計										1		1	2
乳幼児	死 亡													
	重 症													
	中 症										1	1		2
	軽 症							3			12			15
	そ の 他										1			1
	計							3			14	1		18
少年	死 亡													
	重 症													
	中 症				1					1				2
	軽 症				2			1			5			8
	そ の 他													
	計				3			1		1	5			10
成人	死 亡										1			1
	重 症				1			2			6	2		11
	中 症				4	2	2	5			17	3	1	34
	軽 症				9	5	2	13	2	1	71			103
	そ の 他										3			3
	計				14	7	4	20	2	1	98	5	1	152
老人	死 亡							2			10			12
	重 症				5			14			32	11		62
	中 症				6		1	30		1	191	63		292
	軽 症				8			42			144	9		203
	そ の 他				2			1			11	4		18
	計				21		1	89		1	388	87		587
総 計					38	7	5	113	2	3	506	93	2	769

6. 時間別出場状況

H30. 1. 1～H30. 12. 31

月別 時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
0 ～ 1	2	2	1	1		2	3	1		2	1	5	20
1 ～ 2	2		1	2	1		2	2	3			1	14
2 ～ 3			2	3		1	1	2		1	1	2	13
3 ～ 4	3	1	1	1	3	1	1	1	3	2	3	1	21
4 ～ 5	2		1	1	2			2	2	1			11
5 ～ 6	2		2	4				1	3	1	2	1	16
6 ～ 7	1	1	2		3	1	1	1	1	1	2	4	18
7 ～ 8	2	2	1	2		4	1	4	2	4	6		28
8 ～ 9	2	5	4	2	5	5	4	5	4	7	4	1	48
9 ～ 10	2	5	4	3	8	3	2	8	8	1	5	5	54
10 ～ 11	5	2	2	3	2	6	3	3	3	7	5	5	46
11 ～ 12	8	1	11	4	3	4	5	6	4	1	3	5	55
12 ～ 13	4	4	6	1	3	4	3	5	3	1	3	3	40
13 ～ 14	3	5	3	5	2	7	5	6	2		8	3	49
14 ～ 15	7	6	4		6	5	5	8	3	1	4	1	50
15 ～ 16	2	4	2	5	4	5	4	6	2	7	4	3	48
16 ～ 17	4	9	4	3	2	3	3	4	3	1	3	6	45
17 ～ 18	7	5	4	2	6	1	5	3	6	1	3	5	48
18 ～ 19	4	2	1	3	2		6	2	2	7	4	4	37
19 ～ 20	2	4	6	4	3	4	4	3	2	2	3	4	41
20 ～ 21	5	3		2	2	3	3	5	1	4	2	4	34
21 ～ 22	1	2	3	5	3	2	2	1		1		1	21
22 ～ 23	3	1	6		1	3		1	2	1	4	1	23
23 ～ 24	2	2	1	3	3		5		2	3	1	2	24
合 計	75	66	72	59	64	64	68	80	61	57	71	67	804

7. 発生市町村別出場状況

H30. 1. 1～H30. 12. 31

月別 町村	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
奈 半 利 町	25	17	28	23	29	17	20	23	22	17	26	25	272
田 野 町	24	23	22	15	11	15	18	22	23	19	22	18	232
安 田 町	18	17	13	13	14	18	17	21	8	11	15	12	177
北 川 村	5	4	2	7	5	11	7	8	5	3	5	7	69
馬 路 村	2	5	7	1	5	3	5	6	2	6	3	5	50
安 芸 市	1								1	1			3
室 戸 市							1						1
合 計	75	66	72	59	64	64	68	80	61	57	71	67	804

8. 搬送別状況（人員）

H30. 1. 1～H30. 12. 31

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
条 理	男												
	女												
依 頼	男	40	30	32	28	31	36	39	48	37	25	30	409
	女	33	30	38	27	30	26	27	28	24	30	39	360
強 制	男												
	女												
小 計	男	40	30	32	28	31	36	39	48	37	25	30	409
	女	33	30	38	27	30	26	27	28	24	30	39	360
合 計		73	60	70	55	61	62	66	76	61	55	69	769

9. 年間別救急出場

期間（ 1. 1～12. 31）

区分 年別	出 場 件 数	救 急 件 数	搬 送 人 員		
			計	男	女
平成 14 年	643	606	612	325	287
平成 15 年	692	660	673	345	328
平成 16 年	645	617	629	348	281
平成 17 年	641	605	612	296	316
平成 18 年	616	585	597	324	273
平成 19 年	624	587	599	328	271
平成 20 年	639	610	629	319	310
平成 21 年	679	648	658	348	310
平成 22 年	687	655	658	358	300
平成 23 年	720	684	690	383	307
平成 24 年	661	620	625	348	277
平成 25 年	730	680	689	348	341
平成 26 年	685	653	668	339	329
平成 27 年	749	701	705	344	361
平成 28 年	818	788	794	380	414
平成 29 年	767	728	741	331	410
平成 30 年	804	763	769	409	360

10. 住民に対する応急手当普及啓発活動実施状況

H30. 1. 1～H30. 12. 31

区分	受講人員	講習回数	普及啓発用資器材の保有状況						
普通救命講習	159	21	蘇生訓練用人形数			AEDトレーニング	展示用	液 晶	オーバーヘッド
普及員講習	12	4	成人用	乳児用	幼児用	ソングエクト	パネル	ビジョン	プロジェクター
その他の講習	453	24	8	2	2	5	5		1

11. 救急隊員の行った応急処置件数

H30. 1. 1～H30. 12. 31

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一 般	その他	計
対 象 人 員	506	38	113	112	769
固 定	8	17	45	15	85
止 血	6	1	11	1	19
被 覆		5	20	2	27
保 温	18	2	6	3	29
人 工 呼 吸	3				3
心 マ ッ サ ー ジ (自 動 式 心 マ ッ サ ー ジ)					
心 肺 蘇 生	13		3		16
気 道 確 保	13		2		15
(※1)					
(※2)					
(※3)					
(※4)	1		1		2
酸 素 吸 入	144	10	10	37	201
聴診器による心音、呼吸音等の聴取	43	8	5	8	64
除 細 動	2				2
静 脈 路 確 保	6				6
薬 剤 投 与	3				3
血 糖 測 定	9		1	1	11
ブ ド ウ 糖 投 与	3				3
血 圧 測 定	485	35	109	109	738
血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	496	35	109	110	750
心 電 図	371	20	33	72	496
そ の 他 の 応 急 処 置	475	16	76	95	662
計	2,099	149	431	453	3,132

備考 ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保を行った件数

※2 喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数

※3 救急救命士がラリングマスク等を使用して気道確保を行った件数

※4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数

予 防

1. 防火対象物一覧表

H31. 3.31 現在

項 別	区 分	政 令 区 分 防火対象物の別	防火対象 物数 (150㎡ 以上)	防火管理 者義務設 置対象物 数	防火管理 者選任届 数
1 項	イ	劇場、映画館、演劇場又は観覧場	3	3	3
	ロ	公会堂又は集会場	4	3	3
2 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの			
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗類（1項イ、4項、5項イ、9項イに掲げる用途に供されているものを除く）			
	ニ	カラオケボックス、個室等において業務を営む店舗類			
3 項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの			
	ロ	飲食店	11	6	2
4 項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	24	16	13
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	16	8	7
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	40	1	1
6 項	イ	病院、診療所又は助産所	7	5	5
	ロ	老人福祉施設、有料老人ホーム、介護老人保健施設、児童福祉施設等（要介護通所施設を除く）	8	7	6
	ハ	老人ディサービスセンター、老人福祉センター等（要介護、重度障害者を除く通所施設）	14	12	12
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1	1	1
7 項		小学校、中学校、高等学校	14	13	13
8 項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	1	1	1
9 項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの			
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2	1	1
10 項		車輛の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場			
11 項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	2		
12 項	イ	工場又は作業場	64	4	6
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ			
13 項	イ	自動車車庫又は駐車場	5		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14 項		倉 庫	17	3	3
15 項		前各項に該当しない事業所	66	13	13
16 項	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が1項から4項まで、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	9	7	7
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	1		
17 項		文化財	3	1	1
18 項		延長50m以上アーケード			
合 計			314	107	100

2. 危険物施設数

H31. 3. 31 現在

区 分 町村別	合 計	貯 蔵 所						取 扱 所		
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯 蔵 所	地下 タンク 貯 蔵 所	移動 タンク 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
奈 半 利 町	6	2				1	1	4	3	1
田 野 町	6	4				4		2	2	
安 田 町	12	8			3		5	4	3	1
北 川 村	8	6	2	2	1		1	2	1	1
馬 路 村	10	7	1			4	2	3	2	1
合 計	42	27	3	2	4	9	9	15	11	4

3. 危険物指定数量別施設

H31. 3. 31 現在

区 分 数量別	合 計	貯 蔵 所						取 扱 所		
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯 蔵 所	地下 タンク 貯 蔵 所	移動 タンク 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
5 倍以下	23	20	2		2	8	8	3	1	2
5 倍超～ 10倍以下	6	4	1	2		1		2		2
10倍超～ 50倍以下	4							4	4	
50倍超～ 100倍以下	6	3			2		1	3	3	
100倍超～ 150倍以下	1							1	1	
150倍超～ 200倍以下										
200倍超～1,000倍以下	2							2	2	
合 計	42	27	3	2	4	9	9	15	11	4

4. 危険物事務処理状況

H30. 4. 1～H31. 3. 31

区 分 種 別	合 計	貯 蔵 所							取 扱 所		
		小 計	屋 外 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
設 置 許 可											
変 更 許 可											
仮 使 用 承 認											
仮貯蔵・仮取扱い	3	3	1					2			
完 成 検 査 (設 置)											
完 成 検 査 (変 更)											
水 圧 検 査											
水 張 検 査											
予 防 規 程 制 定 ・ 変 更 認 可											
譲 渡 ・ 引 渡 届											
品 名 ・ 数 量 ・ 倍 数 変 更 届											
設置者氏名・名称 変 更 届	2								2	2	
廃 止 届											
保 安 監 督 者 届 ・ 解 任 届	1	1				1					
危 険 物 取 扱 者 届 ・ 解 任 届	3	3				3					
合 計	9	7	1			4		2	2	2	

5. 消防手数料徴収状況

H30. 4. 1～H31. 3.31
(単位：円)

区	危険物関係								被災証明		その他証明		計	
	許可		完成検査		水張検査		仮使用 仮貯蔵承認							
分	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
計							3	16,200	1	300			4	16,500

6. 建築同意件数

H30. 4. 1～H31. 3.31

種別 \ 月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
住宅				1									1
防火対象物							1				1	2	4
その他					1								1
計				1	1		1				1	2	6

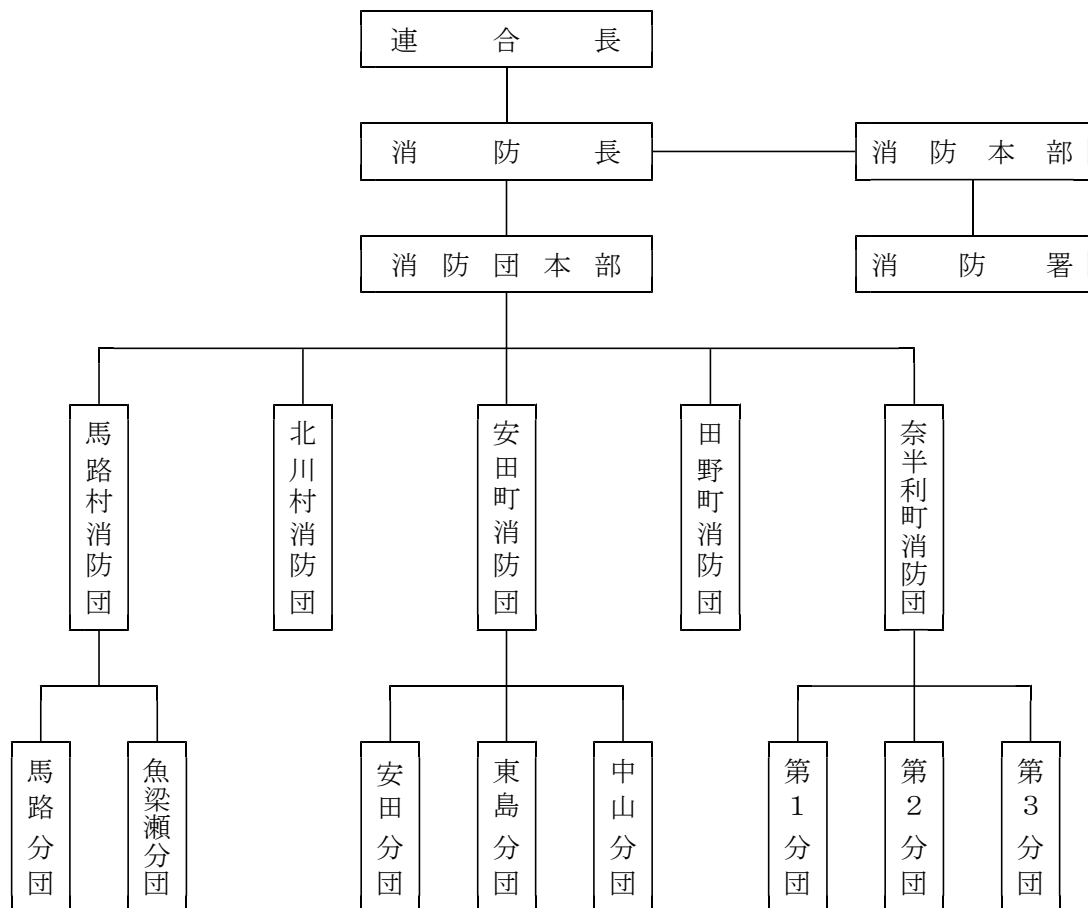
7. 各種届出事務状況

H30. 4. 1～H31. 3.31

区 分 \ 月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
道 路 工 事 届	14	13	6	13	8	15	9	9	7	11	9	16	130
水 道 ・ 断 ・ 減 水 届						1							1
煙 火 打 上 届					2	1	1						4
火 災 と ま ん ら わ し い 煙 ・ 火 災 を 発 生 するおそれのある行為届		4	2	2			3		5	5	5	2	28
ボ イ ラ ー 等 設 置 届											1		1
催 物 開 催 届					1								1
火 薬 庫 の 設 置 許 可 （ 通 知 ） 届													
少 量 危 険 物 ・ 特 殊 可 燃 物 貯 蔵 届	2	2		12	2		4		13		1	2	38
消 防 用 設 備 着 工 届				1	2	1			1	1	2		8
消 防 用 設 備 設 置 届	9	9		4	1		2		2	3	1	3	34
消 防 用 設 備 点 検 結 果 報 告 届	13	6	4	7	15	6	8	5	5	5	10	6	90
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	1		2		1			1		1		1	7
防 火 管 理 者 ・ 選 ・ 解 任 届	9	1	1	4	4	1	2	2	2	1	1		28
消 防 計 画 作 成 ・ 変 更 届	1	1	1		1		2	1	3		1		11
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 の 設 置 届													
計	49	36	16	43	37	25	31	18	38	27	31	30	381

消 防 団

1. 消防団機構



2. 消防団員の実員及び定員数

H31. 4. 1 現在

階 級 団 名	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	定 員 数
奈 半 利 町	1	2	3	3	3	11	40	63	65
田 野 町	1	2			2	9	18	32	33
安 田 町	1	2	3	3	3	10	41	63	65
北 川 村	1	2			2	5	16	26	27
馬 路 村	1	2	2	2	4	11	22	44	51
計	5	10	8	8	14	46	137	228	241

3. 在職年数別消防団員数

H31. 4. 1 現在

在職年数 団名	5 年 未 満	5 10 年 年 以 未 上 満	10 15 年 年 以 未 上 満	15 20 年 年 以 未 上 満	20 25 年 年 以 未 上 満	25 30 年 年 以 未 上 満	30 年 以 上	計	在 平 職 職 年 年 数 数 均 均
奈 半 利 町	16 ^人	10 ^人	16 ^人	6 ^人	2 ^人	4 ^人	9 ^人	63 ^人	14.3 ^年
田 野 町	7	9	5	3	2	1	5	32	14.0
安 田 町	20	2	17	9	7	3	5	63	13.1
北 川 村	5	8	6	2	0	3	2	26	12.1
馬 路 村	7	9	14	4	2	5	3	44	13.8
計	55	38	58	24	13	16	24	228	13.6

4. 年齢別消防団員数

H31. 4. 1 現在

年令 団名	18 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30	31 ～ 35	36 ～ 40	41 ～ 45	46 ～ 50	51 ～ 55	56 ～ 60	61 以 上	計	平 均 年 令
奈 半 利 町	0 ^人	4 ^人	8 ^人	4 ^人	8 ^人	11 ^人	10 ^人	10 ^人	2 ^人	6 ^人	63 ^人	44.0 ^才
田 野 町	0	1	5	7	6	5	3	3	1	1	32	39.7
安 田 町	0	5	7	5	16	8	5	7	5	5	63	37.8
北 川 村	1	1	2	6	6	3	1	0	1	5	26	42.1
馬 路 村	1	1	1	12	3	9	8	3	4	2	44	42.9
計	2	12	23	34	39	36	27	23	13	19	228	41.3

5. 消防団員の報酬（年額）

H31. 4. 1 現在

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
団 員 数(定数)	5 ^人	10 ^人	8 ^人	8 ^人	14 ^人	48 ^人	148 ^人	241 ^人
報 酬(1人当たり)	82.5 ^{千円}	69 ^{千円}	50.5 ^{千円}	45.5 ^{千円}	37 ^{千円}	37 ^{千円}	36.5 ^{千円}	9,566.5 ^{千円}

※ 員数は条例定員数、報酬の計は当初予算総額

6. 歴代消防団長（昭和22年10月10日 自治体消防発足より）

H31. 4. 1 現在

	奈 半 利 町	田 野 町	安 田 町	北 川 村	馬 路 村
初 代	竹 内 友 治	小 林 浩 一	久 保 亀 喜	前 田 正 深	中 村 重 信
二 代	竹 崎 仁一郎	清 岡 昇	松 本 謙 介	白 石 正 義	甫 木 義 郎
三 代	岩 内 久 實	中 野 憲 助	佐 竹 恒 雄	手 島 辰 巳	清 岡 勉
四 代	畠 中 稔 稻	藤 尾 伸 行	中 野 八 公	井 津 義 澄	中 屋 容 臣
五 代	入 交 雅 昭	田 村 清	池 内 善 吉	田 村 武 雄	岩 城 義 喜
六 代	寺 尾 敏 雄	中 島 良 久	西 山 勝 之	田 中 勘 介	尾 原 宗 壽
七 代	山 本 耕 吉	横 田 紘 一	小 松 寛 之	濱 渦 學	笹 岡 保
八 代	松 岡 進 一	濱 川 昌 博	南 久 雄	野 中 多加實	井 上 順 一
九 代	山 村 則 成	安 岡 雄 造		井 津 丑 郎	平 山 崇
十 代	久保田 溜	牛 窓 恭 助		飯 尾 靖	中 屋 博 義
十一代	田 渕 登志夫			岡 嶋 信 祐	
十二代	松 岡 博			田 中 静 夫	
十三代	宮 地 誓			井 津 信 廣	

7. 消防団幹部名簿

H31. 4. 1 現在

所属	階 級	分 団 名	氏 名	所属	階 級	分 団 名	氏 名
奈 半 利 町	団 長		宮 地 誓	北 川 村	団 長		井 津 信 廣
	副団長		齊 藤 正二郎		副団長		濱 渦 孝 幸
	副団長		土 居 敬 佳		副団長		浜 渦 賢 介
	分団長	第 1 分 団	南 典 明		部 長		坂 本 末 光
	分団長	第 2 分 団	木 下 清		部 長		田 所 正 弥
	分団長	第 3 分 団	益 岡 基 広	馬 路 村	団 長		中 屋 博 義
田 野 町	団 長		牛 窓 恭 助		副団長		笹 岡 和 仁
	副団長		安 岡 憲 保		副団長		岡 野 幸 平
	副団長		鶴 岡 一 喜		分団長	馬 路 分 団	芝 久 義
	部 長		大 石 聡		分団長	魚梁瀬分団	門 田 弘 男
	部 長		手 嶋 歳 和				
安 田 町	団 長		南 久 雄				
	副団長		中 山 雅 靖				
	副団長		武 内 幹 憲				
	分団長	安 田 分 団	井 上 章 夫				
	分団長	東 島 分 団	手 島 久 幸				
	分団長	中 山 分 団	小 松 一 昭				

8. 消防団の出動状況

H30. 1. 1～H30.12. 31

区 分 \ 種 別		計	火 災	う ち 林野火災	風水害等	演習・訓練	広報・指導	警防調査	特別警戒	捜 索	予防査察	その他
奈 半 利 町	出 動 回 数	53	2		1	28	6		15			1
	出動延人員	599	55		9	280	40		207			8
田 野 町	出 動 回 数	43	1		1	10	2		28			1
	出動延人員	229	14		11	109	28		56			11
安 田 町	出 動 回 数	52				31	2	2	12			5
	出動延人員	677				536	16	27	63			35
北 川 村	出 動 回 数	25			4	10	2	1	8			
	出動延人員	200			43	107	7	2	41			
馬 路 村	出 動 回 数	127	1		6	29	11		65			15
	出動延人員	812	19		87	423	31		196			56
計	出 動 回 数	300	4		12	108	23	3	128			22
	出動延人員	2, 517	88		150	1, 455	122	29	563			110

9. 中芸広域連合消防団協力事業所表示証交付事業所

H31.4.1現在

協 力 事 業 所 名 称	所 在 地	交 付 年 月 日
湯 浅 建 設 株 式 会 社	馬 路 村	平成21年5月29日
有 限 会 社 木 下 建 設	奈 半 利 町	平成23年6月15日

10. 総務省消防庁消防団協力事業所表示証交付事業所

協 力 事 業 所 名 称	所 在 地	交 付 年 月 日
湯 浅 建 設 株 式 会 社	馬 路 村	平成22年1月22日



表紙カラーガイド

【平成31年 中芸広域連合消防出初め式】

『奈半利川左岸にて消防団による一斉放水』

所在地 / 高知県安芸郡奈半利町 奈半利川左岸河川敷

奈半利川は高知県東部、馬路村魚梁瀬の甚吉森や千本山を中心とする山系に源を発し、魚梁瀬ダム、久木ダム、平鍋ダムの3つのダムを経由し太平洋に注いでいます。

流路の長さは6.1kmで県下で4番目の大きさになるが、その源流域一帯は我が国有数の多雨地帯として知られ、日本三大美林のひとつである魚梁瀬杉を育ており、その豊富な水量は大河と呼ぶにふさわしい様相を呈している。

